

令和6年度第3回

朝霞市地域福祉計画推進委員会・朝霞市地域福祉活動計画推進委員会

次 第

日 時：令和6年10月1日（火）
午後1時30分から

場 所：朝霞市総合福祉センター
第1・第2会議室

- 1 開 会
- 2 委員長あいさつ
- 3 議 題
 - (1) 第5期朝霞市地域福祉計画・朝霞市地域福祉活動計画策定に係るアンケート調査について
 - (2) 第5期朝霞市地域福祉計画・朝霞市地域福祉活動計画策定に係る地域懇談会について
 - (3) 第4期朝霞市地域福祉計画・朝霞市地域福祉活動計画の評価について
 - (4) その他
- 4 閉会

資料1

アンケート調査項目に対する意見一覧

アンケート種類	問番号	委員からの意見	対応
市民	4	この項目は比較しにくいと思います。 専門職で会社員、学生でアルバイト、無職で不労収入あり、年金生活でパート、契約社員、嘱託社員はどこに入る？弁護士もウーバーイーツも自営？等あります。この質問でどう分類したいか？ 他の行政(県・近隣の市)の調査項目を参考にしては？今までの調査結果がその他ばかりではないですか。	設問を削除予定
市民	8	高齢者の定義は？65歳以上か75歳以上か？	(65歳以上)追加
市民	8	・選択肢 5. 高齢者のみである 何歳以上を高齢者とするのか	
市民	9	相談や支援が必要な悩み事があるか無いかをまず問う必要は？	選択肢追加・修正
市民	9	選択肢 5. わからない→(変更)どこに相談してよいかわからない 6. (追加)→相談したくない	
市民	11	関わっていない施設・サービス、知る機会の無いものには「わからない」が集中すると思います。 満足度を問う場合、比較するもの(過去、他市)が必要？ この12の項目に同じ選択肢は無理がありそうです。	設問を削除予定
市民	11	・設問にある ①から⑫を選択肢の方へ持っていき、設問の仕方を変更する。 (例) あなたは、生活に関連する項目について、ある程度満足と感じるものは次のどれですか。(あてはまるものすべてを選択)	
市民	12	愛着という定義？取り方に違いがありそうです。 親や代々住んでいる、市に関わり知識がある、周囲の環境等が好き、など	設問を削除予定
市民	12	・第6次朝霞市総合計画の策定に当たっての基礎資料とするために実施した「市民意識調査」のアンケート結果を活用し、設問項目から削除することはできないか	
市民	13	・第6次朝霞市総合計画の策定に当たっての基礎資料とするために実施した「市民意識調査」のアンケート結果を活用し、設問項目から削除することはできないか	設問を削除予定
市民	14	その他が欲しいです。 「～で(コロナで)減ったが戻った」、「同居の夫が他界して～」、「隣を除けば～」	選択肢追加
市民	15	その他が欲しいです。 「～で(コロナで)減ったが戻った」、「同居の夫が他界して～」、「隣を除けば～」	選択肢追加
市民	26,27	・第6次朝霞市総合計画の策定に当たっての基礎資料とするために実施した「市民意識調査」のアンケート結果を活用し、設問項目から削除することはできないか	クロス集計対象として残す
市民	32	薬局と連携を図っている事例もあるので、項目の追加はいかがでしょうか。	選択肢修正
市民	33	選択肢 1. 福祉への責任は行政にあり…→削除、設問2、3、4、5だけで良い。 提案:否定的な考え方を誘発させるようで、設問に入れるべきではないと思う。	設問を削除予定
市民	34	10の選択肢は「だれにでも使いやすい施設、まちづくり」具体的に何ですか？ 12「心と体の健康づくり」何を指しますか？ 15「主体的に活動できる場所」どういう場所？ 16「安心して過ごせる居場所」どういう場所？	選択肢修正

アンケート種類	問番号	委員からの意見	対応
専門職	1	2種類資格を持っている人がいます。	複数記載
専門職	2	問1から例えば介護福祉士〇年、介護支援専門員〇年	設問修正
専門職	3	これも複数考えられる。高齢者施設在職看護師	設問修正
専門職	12	選択肢5「当事者団体」とは、どういう人？介護されている人？保育されている子ども？	選択肢修正 (項目の細分化はせず)
専門職	12	薬局と連携を図っている事例もあるので、項目の追加はいかがでしょうか。	
専門職	12	13. 地域包括支援センター→各センターを分類して選択 高齢者：地域包括支援、居宅介護支援 障害：障害児・者相談支援センター、児童発達支援センター	
専門職	13	選択肢5「当事者団体」とは、どういう人？介護されている人？保育されている子ども？	選択肢修正 (項目の細分化はせず)
専門職	13	薬局と連携を図っている事例もあるので、項目の追加はいかがでしょうか。	
専門職	13	13. 地域包括支援センター→各センターを分類して選択 高齢者：地域包括支援、居宅介護支援 障害：障害児・者相談支援センター、児童発達支援センター	
専門職	問13-1	…具体的な「内容」⇒具体的な「理由」にしたほうが回答者はシンプルで書きやすい。	設問修正
専門職	14	ケアマネジメントをどうする？増員？教育？活動を増やす？	選択肢修正
専門職	17-19	問1に書かれた専門職の方達への質問としては、問16までは日常考えたり、話したりすることもあるかと思いますが、問17～特に問19は普段話したりするような内容ではなく、問のハードルが高い、回答しにくい気がします。	調査冒頭に、内容によって書きにくい設問は書かなくてよい旨記載
専門職	19	選択肢9「支援に関する協議及び検討の場」 誰が、又はどういう機関とが協議する？	選択肢修正
団体	1	薬局と連携を図っている事例もあるので、項目の追加はいかがでしょうか。	選択肢修正
団体	2-2	薬局と連携を図っている事例もあるので、項目の追加はいかがでしょうか。	選択肢修正
団体	5	3. 常に単発の形で良いので、参加してもらえると助かるの赤字の文言がしっくりいかない。赤字を削除し「単発で良いので気軽に参加してほしい」	選択肢修正
団体	5	3. (例えばどんな内容:()云々)については、活動内容は常に変化している為、ここでわざわざ書き加える必要はないのでは。団体として答えにくいと思います。	
団体	6	1～17の問いが、地域の団体に期待感がありありで、団体としては答えにくい。 特に2番、3番、4番、5番、7番、等々	調査冒頭に、内容によって書きにくい設問は書かなくてよい旨記載

第5期朝霞市地域福祉計画及び第5期朝霞市地域福祉活動計画
市民アンケート調査票 項目案

資料2

今回調査票(案)							
分類	問	設問	選択肢	設問意図	前回調査	新番号	8/5委員会からの修正
属性	問1	あなたのお住まいはどの地区ですか。(1つを選択)	1. 第1圏域 【大字上内間木、大字下内間木、宮戸、大字宮戸、朝志ヶ丘】 2. 第2圏域 【東弁財、西弁財、三原、泉水】 3. 第3圏域 【本町1・2丁目、溝沼1~5丁目、大字溝沼、膝折町3~5丁目】 4. 第4圏域 【仲町、根岸台、大字根岸、大字台】 5. 第5圏域 【青葉台、栄町、幸町、膝折町1・2丁目、大字膝折、本町3丁目】 6. 第6圏域 【北原、西原、浜崎、大字浜崎、田島、大字田島、岡、大字岡、溝沼6・7丁目】	地域別の傾向分析 日常生活圏域をベースとした分析	1	1	
属性	問2	あなたは、朝霞市にお住まいになってどのくらいになりますか。延べ年数でお答えください。(1つを選択)	1. 5年未満□ 2. 5~9年□ 3. 10~19年□ 4. 20~29年□ 5. 30~49年□ 6. 50年以上□	居住年数別の傾向分析	2	2	出たり入ったりもある⇒延べ年数での回答に修正
属性	問3	あなたの性別をお答えください。(1つを選択)	1. 男性□ 2. 女性□ 3. 答えたくない□	性別に応じた課題分析	3	3	
属性	問4	あなたの職業をお答えください。(1つを選択)	1. 会社員・役員 函派遣社員・契約社員含む 2. 自営業・フリーランス 3. 専門職 ※医師・看護師・弁護士など 4. 公務員・教員 ※私立の教員は「3。」 5. 学生 6. 専業主婦・専業主夫 7. パート・アルバイト 8. 無職□ 9. その他()	職業別に、活動参加状況等を把握	4	4	選択肢修正
属性	問5	あなたの勤務先、通学先はどちらですか。(1つを選択)	1. 朝霞市内□ 2. 和光市・志木市・新座市□ 3. その他埼玉県内□ 4. 東京都□ 5. その他()□ 6. 通勤・通学していない□	勤務・通学状況に応じた活動参加しやすいものの把握	5	-	上記設問で対応。削除
属性	問6	あなたの年齢をお答えください。(1つを選択)	1. 18~29歳□ 2. 30~39歳□ 3. 40~49歳□ 4. 50~59歳□ 5. 60~69歳□ 6. 70~79歳□ 7. 80歳以上□	世代別課題分析 年齢区分を簡略化	6	5	

今回調査票(案)							
分類	問	設問	選択肢	設問意図	前回調査	新番号	8/5委員会からの修正
属性	問7	あなたの同居している世帯・家族の構成をお答えください。(1つを選択)	1. 単身□ 2. 夫婦のみ□ 3. 親と子(2世代) 4. 親と子と孫(3世代)□ 5. 兄弟や親族□ 6. その他()	世帯構成別課題分析	7	6	
暮らしの状況	問8	あなた自身もしくは、ご家族の中で該当する方はいますか。(あてはまるものすべてを選択)	1. 介護保険のサービスを受けている□ 2. 障害福祉のサービスを受けている 3. 家族の介護・介助をしている 4. 18歳未満の子がいる 5. 高齢者(65歳以上)のみである□ 6. 外国籍である 7. 引きこもりの状態である 8. いずれもない□	家族構成員の状況別課題の分析	8	7	問8は家族の状況を聞くもので、ヤングケアラーがいるかは別の質問で聞くべき。 ⇒該当項目差替え
暮らしの状況	問9	自分や家族は、生活上の問題や悩み事について、相談や支援を十分に受けられていますか。(新)(1つを選択)	1. 十分受けている 2. ある程度受けている 3. あまり受けていない 4. ほとんど受けていない 5. どこに相談してよいかわからない 6. 相談したくない 7. 問題や悩み事は特にない	アウトリーチ支援の必要性の確認	—	8	選択肢追加・修正
暮らしの満足度	問10	あなたにとって、朝霞市は5年前と比べて暮らしやすいですか。(1つを選択)	1. 暮らしやすくなった 2. 暮らしにくくなった 3. あまり変わらない 4. 居住期間が短く分からない 5. どちらもいえない	地域福祉の総合的な成果指標候補	9	9	前回との比較より、この回答者の変化をみるべき ⇒5年前比較に変更とともに、5年未満居住者にも配慮
暮らしの満足度	問11	次のような生活に関連する項目について、①~⑫のそれぞれあてはまるものをお答えください。(それぞれ1つを選択) ① 児童館、老人福祉センターなどの社会福祉施設 ② 犯罪や事故の少ない社会環境 ③ 近隣住民との連帯感(コミュニティ) ④ 職場(学校)と住まいの近さ ⑤ 高齢者に関するサービス ⑥ 障害のある人に関するサービス ⑦ 子育てに関するサービス ⑧ 低所得者に関するサービス ⑨ 通勤や通学などの交通の便 ⑩ 生活用品などの買い物 ⑪ 病院などの医療機関 ⑫ 相談窓口の分かりやすさ	1. 満足□ 2. どちらかといえば満足□ 3. どちらかといえば不満□ 4. 不満 5. わからない	施設・サービス等の満足度の把握と施策推進の参考	10	—	市民意識調査から、道路交通の満足度等把握可能。 その他は「今後優先的に取り組むべき事項」で対応(削除)
暮らしの満足度	問12	あなたは朝霞市に愛着がありますか。(1つを選択)	1. とてもある□ 2. 少しある 3. どちらともいえない□ 4. あまりない 5. まったくない□		—	—	朝霞市意識調査結果を活用(削除)

今回調査票(案)							
分類	問	設問	選択肢	設問意図	前回調査	新番号	8/5委員会からの修正
近所付き合い	問13	近所の人とは普段どのような付き合いをしていますか。(1つを選択)	1. 日ごろから親しく付き合っている 2. 会えば立ち話をする 3. あいさつする程度であり近所付き合いはない 4. 近所の人とは全く付き合いがない 5. その他()		11	-	朝霞市意識調査結果を活用(削除)
近所付き合い	問14	5年前と比べて、普段の近所付き合いはどのように変化しましたか。(1つを選択)(新)	1. 近所付き合いはかなり減った 2. 近所付き合いは少し減った 3. 大きな変化はない 4. 近所付き合いは少し増えた 5. 近所付き合いはかなり増えた 6. 居住期間が短く分からない 7. その他() 8. わからない	近所付き合いの変化を把握	-	10	⇒5年前比較に変更とともに、5年未満居住者にも配慮 「その他」追加
近所付き合い	問15	あなたは、普段の近所付き合いを今後どうしたいと思いますか。(1つを選択)	1. 近所付き合いを深めたい 2. 現状のままでよい 3. 近所付き合いをなるべくしたくない 4. 近所付き合いをやめたい 5. その他()	「近所付き合い」に対する意向の把握	13	11	「その他」追加
近所付き合い	問16	上記で「1.」の方 近所との付き合いを深めるためのきっかけとして、どのようなものが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてを選択)	1. 自治会・町内会・子ども会等□ 2. 近隣の清掃活動 3. 趣味を通じたサークル活動等□ 4. ボランティアや福祉に関する講座 5. 地域懇談会(茶話会)□ 6. 防災訓練、避難所体験等 7. 気軽に集える場所□ 8. 地域の見守り、声掛け活動 9. 子どものつながり 10. その他()	近所付き合いの活性化に向けた取組の方向性を把握	13-1	11-1	子どもの交流をきっかけに広がる付き合いも多いので、この視点を追加を ⇒9.「子どものつながり」追加
社協の活動	問17	朝霞市社会福祉協議会(朝霞市社協)の活動のうち、知っているものは何ですか。(あてはまるものすべてを選択)	1. 社協会員の募集 2. 共同募金運動 3. “住民参加型”在宅福祉サービス あいはあと事業 4. 福祉サービス利用援助事業(あんしんサポートねっと) 5. ボランティアセンター事業 6. 福祉教育の実施 7. 福祉資金の貸付 8. 車いすの貸出 9. 広報紙「社協あさか」の発行□ 10. 朝霞市社協マスコットキャラクター アーシャくるくん 11. 朝霞市社協は知っているが、活動で知っているものは特にな 12. 朝霞市社協自体を知らない	社協活動の認知状況・浸透度の把握と周知方針検討の参考	14	12	多数の選択肢はWEB回答が難しい。 ⇒個別分野の福祉サービス提供は除外し整理

今回調査票(案)							
分類	問	設問	選択肢	設問意図	前回調査	新番号	8/5委員会からの修正
民生委員	問18	民生委員・児童委員の活動のうち、知っているものはありますか。(あてはまるものすべてを選択)	1. 日常生活の悩みや心配ごとの相談 2. 福祉に関する情報の提供 3. 地域住民の見守り 4. 福祉サービス利用にあたっての支援 5. 地域の福祉課題を解決していくための仕組みづくり 6. 民生委員・児童委員は知っているが、活動で知っているものは特にない 7. 民生委員・児童委員自体を知らない	民生委員・児童委員活動の認知状況の把握と活動の周知	15	13	
保護司	問19	保護司の活動のうち、知っているものはありますか。(あてはまるものすべてを選択)	1. 保護観察 2. 生活環境調整 3. 犯罪予防活動 4. 社会を明るくする運動 5. 保護司は知っているが、活動で知っているものは特にない 6. 保護司自体を知らない	保護司活動の認知状況の把握と活動の周知	17	14	
地域課題	問20	子ども・若者支援に関して、あなたの身近な地域で、今後優先的に取り組むべきと感じるものは次のどれですか。(2つまで選択)	1. ひとり親家庭の子育て支援□ 2. 共働き家庭の子育て支援 3. 乳幼児期の子どもを抱える家庭への支援□ 4. 子どもへの虐待(ぎゃくたい)防止対策 5. 子どもの貧困対策 6. ヤングケアラー対策(新) 7. 青少年の健全育成、犯罪や非行の防止 8. その他() (新) 9. 特にない	子ども・若者支援に関する地域課題の優先度を把握	19	15	
地域課題	問21	高齢者支援に関して、あなたの身近な地域で、今後優先的に取り組むべきと感じるものは次のどれですか。(2つまで選択)	1. 高齢者の社会参加や生きがいづくりに対する支援 2. 高齢者世帯の生活支援(声かけや安否確認、買い物支援など) 3. 高齢者への虐待(ぎゃくたい)防止対策 4. 孤立(孤独死)防止対策 5. 介護者、介助者への情報提供などの支援 6. その他() (新) 7. 特にない	高齢者支援に関する地域課題の優先度を把握	19	16	
地域課題	問22	障害者支援に関して、あなたの身近な地域で、今後優先的に取り組むべきと感じるものは次のどれですか。(2つまで選択)	1. 障害のある人が地域で自立して生活するための支援 2. 障害のある人に対する地域の理解、交流の支援 3. 障害のある人への虐待(ぎゃくたい)防止対策 4. バリアフリー環境の整備 5. 介護者、介助者への情報提供などの支援 6. その他() (新) 7. 特にない	障害者支援に関する地域課題の優先度を把握	19	17	

今回調査票(案)							
分類	問	設問	選択肢	設問意図	前回調査	新番号	8/5委員会からの修正
地域課題	問23	その他の支援に関して、あなたの身近な地域で、今後優先的に取り組むべきと感じるものは次のどれですか。(2つまで選択)	1.生活習慣病予防など健康づくりへの取り組み支援 2.災害が発生した際の安否確認や避難誘導などの防災活動 3.地域で孤立している人への支援 4.振り込め詐欺などの消費者被害の防止などの防犯活動 5.生活困窮者への支援 6.仕事に就けない人への就労支援 7.外国人市民の地域での生活に対する支援 8.過去に罪を犯した人への更生支援 9.空き家対策 10.ひきこもりの人への支援 11.住民同士のつながりづくり 12.居住に課題を抱える人への支援 13.自殺防止対策 14.市民後見人の育成などの権利擁護への取り組み支援 15.その他() 16.特にない	その他の支援に関する地域課題の優先度を把握	19	18	
地域課題	問24	あなたの身近な地域で、孤立や虐待などの状況を見たり聞いたりしたことがありますか。(1つを選択)(新)	1.ある 2.ない	問24,25とセットで、身近な孤立・虐待事例への注意喚起と対処法の周知	—	19	
地域課題	問25	もし、あなたの周辺で孤立や虐待(ぎゃくたい)(児童、高齢者、障害のある人)などの状況を知ったら、最初にどのように対応しますか。(1つを選択) ※虐待を受けたと思われる児童、高齢者、障がいのある人を発見した人は、市町村等へ速やかに通報する義務が法令で定められています。 朝霞市こども未来課 048-463-0364 朝霞市長寿はつらつ課 048-483-4520 朝霞市役所障害福祉課 048-463-1598 埼玉県虐待通報ダイヤル(24時間365日対応) #7171。 つながらない場合は、048-762-7533 児童相談所虐待対応ダイヤル:189(いちはやく)	1.直接訪問する□ 2.近隣の人に相談する 3.自治会・町内会役員に相談する□ 4.民生委員・児童委員に相談する 5.社会福祉協議会に相談する□ 6.市役所・児童相談所などの公的機関へ相談する 7.警察・交番に相談する□ 8.その他() 9.わからない□ 10.特に何もしない	孤立・虐待発見時の対応の確認と、相談先の周知	20	20	9.わからない の人はわからないまま。周知をセットにすべき。 アンケートを機会に、どこに相談すればよいかとの案内もできると一石二鳥。 ⇒通報義務、通報先について、情報追加
コミュニティ活動	問26	あなたは日頃、地域の自治会・町内会活動やボランティア団体などで、コミュニティ活動をしていますか。(1つを選択)	1.自治会・町内会活動 2.清掃活動や福祉ボランティア活動 3.子ども会・老人クラブなどの地域活動 4.音楽・舞踊などの文化芸術活動 5.スポーツ・レクリエーションなどのサークル活動 6.祭りや各種イベントなどの地域行事活動 7.その他の活動() 8.特にない	「朝霞市意識調査」にならない、ボランティア活動、地域活動を合わせて「コミュニティ活動」とする	24	21	

今回調査票(案)							
分類	問	設問	選択肢	設問意図	前回調査	新番号	8/5委員会からの修正
コミュニティ活動	問27	あなたは今後機会があれば、どのようなコミュニティ活動をしてみたいですか。(1つを選択)	1. 自治会・町内会活動 2. 清掃活動や福祉ボランティア活動 3. 子ども会・老人クラブなどの地域活動 4. 音楽・舞踊などの文化芸術活動 5. スポーツ・レクリエーションなどのサークル活動 6. 祭りや各種イベントなどの地域行事活動 7. その他の活動() 8. 特にない	「朝霞市意識調査」にならない、ボランティア活動、地域活動を合わせて「コミュニティ活動」とする	24	22	
コミュニティ活動	問28	コミュニティ活動に参加して良かったと思うことは何ですか。(あてはまるものすべてを選択)	1. 新しい仲間ができた□ 2. 年齢の異なる人と交流できた 3. 活動の楽しさがわかった□ 4. 活動を通じて地域に貢献できた 5. 地域の良さに気付くことができた□ 6. 地域の人に感謝された・役に立てた 7. 自分の経験や知識などを活かした□ 8. その他() 9. 特にない	「朝霞市意識調査」にならない、ボランティア活動、地域活動を合わせて「コミュニティ活動」とする	若12-2	23	
コミュニティ活動	問29	あなたは、地域に困っている世帯がある場合、現在既に「手助けしていること」や今後「手助けできること」はありますか。また、現在もしくは将来的に、あなた自身が地域の人に「手助けしてもらいたいこと」はありますか。①～⑱のそれぞれあてはまるものをお答えください。(あてはまるものすべてを選択) ① 安否確認の声かけ ② 話し相手 ③ 困りごとなどの相談 ④ 日用品などのちょっとした買い物 ⑤ 電球交換などのちょっとした作業 ⑥ ごみ出し ⑦ 家の中の掃除や洗濯 ⑧ 庭の手入れ ⑨ 食事づくり ⑩ 短時間の子どもの預かり ⑪ 保育園・幼稚園の送迎 ⑫ 散歩の付き添い ⑬ 通院の付き添い(送迎) ⑭ 病気の時の看病 ⑮ 経済的な支援 ⑯ 防犯見回り、防災訓練などへの参加 ⑰ 災害時・緊急時の手助け ⑱ 近所のイベントの手伝い ⑲ その他()	他人に関すること 1. 手助けしていること 2. 手助けできること 自身に関すること 3. 手助けしてもらいたいこと	地域の人にできること、してもらいたいことの把握から、市民ボランティア展開の方向性を検討	29	24	コミュニティ活動に移動

今回調査票(案)							
分類	問	設問	選択肢	設問意図	前回調査	新番号	8/5委員会からの修正
防災活動	問30	防災に関連する項目について、①～⑥のそれぞれあてはまるものをお答えください。(それぞれ1つを選択) ① 身近な避難場所と行き方を知っていますか ② 地域の防災訓練に参加していますか ③ 地域の自主防災組織に参加していますか ④ 災害時に避難の手助けが必要ですか ⑤ 災害時に避難の手助けが必要な人が近所にいますか ⑥ 災害時に避難の手助けが必要な近所の人に、手助けをすることができますか	1. はい□ 2. いいえ□ 3. わからない	市民の防災活動への取り組み状況を把握	26	25	
防災活動	問31	災害時の備えとして、普段どのようなことをしていますか。(あてはまるものすべてを選択)	1. 携帯ラジオ・ライトなど防災関連の道具を準備している 2. 食料や飲料水を準備している 3. 常備薬・入れ歯や補聴器など無いと困るものを準備している 4. 避難する場所を決めている 5. 家具の転倒防止をしている 6. スリッパやくつなどをいつでも使えるように置いている 7. 貴重品などをすぐに持ち出せるように準備している 8. 耐震補強工事をしている 9. 市発行の地震・洪水ハザードマップで防災情報を確認している 10. 近所の人や知り合いと声をかけ合ったり、確認し合うことを話題にしている 11. その他() 12. 特に何もしていない	市民の防災への備えの状況把握とアイデアの周知	27	26	
福祉施策	問32	日常生活で困ったことがあった場合、どこに相談しますか。(あてはまるものすべてを選択) <u>※回答終了ページに、朝霞市の各種相談窓ロー一覧へのリンクがあります。(下記URLを掲載)</u> https://www.city.asaka.lg.jp/soshiki/12/soudan-ichiran.html	1. 市役所□ 2. 警察 3. 病院、診療所、薬局□ 4. 児童相談所 5. 学校、保育園、幼稚園□ 6. 社会福祉施設 7. 地域包括支援センター □ 8. 社会福祉協議会 9. 民生委員・児童委員□ 10. 自治会・町内会の役員 11. ボランティア□ 12. 友人・知人 13. 家族・親族□ 14. 福祉サービスの事業者 15. 近所の人□ 16. その他() 17. <u>相談相手がいない・わからない</u> □ 18. だれにも相談しない	相談先の確認と、相談先の周知	32	27	いない を選択した人を追いかけるられないか ⇒相談先の情報を追加 薬局追加

今回調査票(案)							
分類	問	設問	選択肢	設問意図	前回調査	新番号	8/5委員会からの修正
福祉施策	問33	福祉のまちづくりに向けた、行政と地域住民の関係について、あなたの考えに最も近いものはどれですか。(1つを選択)	1. 福祉への責任は行政にあり、住民は特に協力することはない 2. 行政だけで解決できない問題については、住民同士が協力して取り組むべきである 3. 福祉の問題についても、行政と住民が協働して、取り組むべきである 4. 家庭や地域での助け合いが基本で、できない場合に行政が取り組むべきである 5. わからない	福祉のまちづくりに向けた市民意識の変化を把握	33	-	設問削除
福祉施策	問34	今後、朝霞市及び朝霞市社会福祉協議会で福祉のまちづくりを進めるためには、どのようなことが必要だと思いますか。(3つまで選択)	1. 相談支援体制の整備 2. 社会福祉施設での地域住民との交流 3. だれにでもわかりやすい福祉情報の提供 4. 福祉関連事業所のつながり 5. 在宅サービスの充実 6. 保健・医療・福祉の連携 7. 福祉サービスを受ける人の権利を守ること 8. 福祉教育の充実(学校・地域) 9. ボランティア・地域活動による生きがいづくり 10. 災害時・緊急時の防災・安全対策の充実 11. 心と体の健康づくりに向けた講座・講習の充実 12. ボランティア活動の指導者の養成 13. 専門職同士の交流 14. 住民が自主的に活動できる場所の提供 15. 子育て世代など孤立しがちな人たちの居場所づくり 16. 市の福祉の予算の増額を図ること 17. その他()	福祉のまちづくりに向けた取り組みの方向性の確認	35	28	「だれにでも使いやすい施設、まちづくり」削除 選択肢修正
福祉施策	問35	あなたは、生活困窮者自立支援制度について知っていますか。(新)(1つを選択)	1. よく知っている 2. 制度名は知っているが、内容は知らない□ 3. 制度名も内容も知らない	認知度の確認と周知	-	29	

今回調査票(案)							
分類	問	設問	選択肢	設問意図	前回調査	新番号	8/5委員会からの修正
情報	問36	朝霞市の情報を今後何から手に入れたいと思いますか。(あてはまるものすべてを選択)	1. 市役所の窓口 2. 朝霞市の広報紙『広報あさか』 3. 朝霞市のホームページ 4. 社会福祉協議会の窓口 5. 社会福祉協議会の広報紙『社協あさか』 6. 社会福祉協議会のホームページ 7. 民生委員・児童委員 8. ボランティア 9. 家族・親族 10. 友人・知人等からの口コミ 11. 自治会・町内会 12. 福祉サービスの事業者 13. 福祉活動団体 14. SNS 15. テレビ 16. 新聞 17. ラジオ 18. インターネット 19. その他() 20. 知らない、わからない	朝霞市に関して希望する情報の入手手段の把握	—	30	情報の入手手段の設問を統合 福祉に限定した問いから、朝霞市に関する情報全般についての問いに変更。
情報	問37	上記で「14.SNS」を選んだ人のみ あなたが朝霞市に関する情報を手に入れる手段として利用したいSNSは何ですか。(あてはまるものすべてを選択)	1. LINE 2. Facebook 3. X(Twitter) 4. Messenger 5. YouTube 6. Instagram 7. その他()	朝霞市に関して希望する情報の入手手段の把握	—	30-1	項目修正
成年後見	問38	あなたは、成年後見制度について知っていますか。(新)(1つを選択)	1. よく知っている 2. 制度名は知っているが、内容は知らない 3. 制度名も内容も知らない	認知度の確認と周知	—	31	
成年後見	問39	将来的にあなた自身の判断能力が不十分になった場合、成年後見制度を利用したいと思いますか。(新)(1つを選択)	1. 利用したい 2. 利用したくない 3. わからない	制度の利用意向の確認	—	32	
成年後見	問40	上記で「1.」または「2.」 成年後見制度を利用することになった場合、誰に後見人になって支援してほしいですか。(新)(1つを選択)	1. 配偶者や子どもなどの親族 2. 弁護士や司法書士などの専門職 3. 社会福祉法人などの団体 4. 市民後見人 5. その他() 6. わからない	家族等への制度の周知、市民後見人の育成に向けたニーズの把握	—	32-1	
成年後見	問41	「利用したくない」あるいは「わからない」と答えた理由は何ですか。(新)(1つを選択)	1. 制度の内容や利用方法がよくわからない 2. 制度を利用する際の手続きが複雑そうである 3. 他人に財産管理を任せることに抵抗がある 4. 利用するための費用(経済的負担)がかかる 5. 制度を利用せずに配偶者や子どもなどの親族に任せたい 6. その他() 8. 特に理由はない	制度利用をためらう理由の把握から、利用につなげる方策の検討	—	32-2	
	問42	最後に、これからの地域福祉の取組について、ご意見などがありましたら自由にご記入ください。(自由意見)				33	

第5期朝霞市地域福祉計画及び第5期朝霞市地域福祉活動計画
専門職アンケート調査票 項目案

資料3

今回調査票(案)							
分類	番号	設問	選択肢	設問意図	前回調査	新番号	8/5委員会からの修正
属性	問1	あなたの現在の職種をお書きください。(複数記載可)	記入例:介護施設職員、保育士、教諭、保健師、民生委員・児童委員、保護司など	回答者の属性把握	1	1	職種と経験年数を分離
属性	問2	あなたの現在の職種での延べ経験年数をお選びください。(1つを選択)	1.1年未満 2.1年以上3年未満 3.3年以上5年未満 4.5年以上10年未満 5.10年以上20年未満 6.20年以上	回答者の属性把握	1	2	職種と経験年数を分離 延べ経験年数を選択式に変更
属性	問3	あなたの関わる専門分野をお選びください。(あてはまるものすべてを選択)	1.子ども・若者支援 2.高齢者支援 3.障害者支援 4.保健・医療 5.防犯・防災・交通安全 6.就労支援 7.その他()	回答者の属性把握	2	3	専門分野の詳細な種別の確認に替えて、本設問を追加 選択可能数修正
地域課題	問4	子ども・若者支援に関して、最近、地域で気になる課題がありますか。優先的に解決すべき事項を選択し、番号に丸(O)をつけてください。また、それぞれに取り組む際の解決に向けたアイデア・ご意見があればお書きください。 (2つまで選択)	1.ひとり親家庭の子育て支援 2.共働き家庭の子育て支援 3.乳幼児期の子どもを抱える家庭への支援 4.子どもへの虐待(ぎゃくたい)防止対策 5.子どもの貧困対策 6.不登校児および家族への支援(新) 7.ヤングケアラーへの支援(新) 8.青少年の健全育成、犯罪や非行 9.その他() 10.特にない	子ども・若者支援に関する地域課題の優先度を把握	3	4	地域課題の設問を分野別に分割し、整理
地域課題	問5	高齢・介護に関して、最近、地域で気になる課題がありますか。優先的に解決すべき事項を選択し、番号に丸(O)をつけてください。また、それぞれに取り組む際の解決に向けたアイデア・ご意見があればお書きください。 (2つまで選択)	1.高齢者の社会参加や生きがいづくりに対する支援 2.高齢者世帯の生活支援(声かけや安否確認、買い物支援など) 3.高齢者への虐待(ぎゃくたい)防止対策 4.高齢者の孤立(孤独死)防止対策 5.高齢者の介護者、介助者への情報提供などの支援 6.独居高齢者への支援(新) 7.その他() 8.特にない	高齢者支援に関する地域課題の優先度を把握	3	5	地域課題の設問を分野別に分割し、整理
地域課題	問6	障害者支援に関して、最近、地域で気になる課題がありますか。優先的に解決すべき事項を選択し、番号に丸(O)をつけてください。また、それぞれに取り組む際の解決に向けたアイデア・ご意見があればお書きください。 (2つまで選択)	1.障害のある人が地域で自立して生活するための支援 2.障害のある人に対する地域の理解、交流の支援 3.障害のある人への虐待(ぎゃくたい)防止対策 4.バリアフリー環境の整備 5.障害のある人の介護者、介助者への情報提供などの支援 6.その他() 7.特にない	障害者支援に関する地域課題の優先度を把握	3	6	地域課題の設問を分野別に分割し、整理

今回調査票(案)							
分類	番号	設問	選択肢	設問意図	前回調査	新番号	8/5委員会からの修正
地域課題	問7	その他の支援に関して、最近、地域で気になる課題がありますか。優先的に解決すべき事項を選択し、番号に丸(○)をつけてください。また、それぞれに取り組む際の解決に向けたアイデア・ご意見があればお書きください。 (3つまで選択)	1.生活習慣病予防など健康づくりへの取り組み支援 2.災害が発生した際の安否確認や避難誘導などの防災活動 3.地域で孤立している人への支援 4.振り込め詐欺などの消費者被害の防止などの防犯活動 5.生活困窮者への支援 6.仕事に就けない人への就労支援 7.外国人市民の地域での生活に対する支援 8.過去に罪を犯した人への更生支援 9.空き家対策 10.ひきこもりの人への支援 11.住民同士のつながりの欠如 12.居住に課題を抱える人への支援 13.自殺防止対策 14.成年後見制度の理解の普及(新) 15.市民後見人の育成などの権利擁護への取り組み支援 16.地域住民等が集う拠点の整備 17.分野別の圏域 18.福祉に関する情報提供 19.分野横断的な困難事例の増加(新) 20.その他() 21.特にない	その他の支援に関する地域課題の優先度を把握	3	7	地域課題の設問を分野別に分割し、整理
地域課題	問8	専門職としての関わりの中で、ひきこもり状態に該当する方をどれくらい把握していますか。(1つを選択)(新)	1.把握していない 2.1人~5人 3.6人~10人 4.11人~15人 5.16人~20人 6.21人以上	ひきこもりの概況把握	—	8	
地域課題	問8-1	問8で「1.」以外の方把握している、ひきこもり状態に該当する方の年代を分かる範囲でお答えください。(あてはまるものすべてを選択)(新)	1.把握していない 2.中学生以下 3.高校生 4.高校卒業から30歳未満 5.30代 6.40代 7.50代 8.60代以上	ひきこもりの概況把握	—	8-1	新規追加
地域課題	問9	専門職の立場から、ひきこもりの人への支援に関して、どのような支援があればよいと思いますか。次の中から選択してください。(あてはまるものすべてを選択)(新)	1.医療支援・カウンセリング等の充実 2.総合相談窓口の充実 3.支援・相談窓口の周知・PR 4.身近な地域での相談窓口の設置 5.引きこもり家族教室の充実 6.地域住民を対象とした講演会 7.当事者の会 8.家族会 9.その他()	専門職の視点から、効果的な支援策を検討	—	9	
地域課題	問10	最近、制度上のサービスでは解決できずに困っている問題・事例(制度のはざまの問題、分野横断的な課題への対応など)がありますか。	自由回答	重層的支援体制整備事業の具体化に向けた課題把握	—	10	

今回調査票(案)							
分類	番号	設問	選択肢	設問意図	前回調査	新番号	8/5委員会からの修正
地域課題	問11	問10で書かれた問題・事例に対して、解決に向けたアイデア・ご意見がありましたらお書きください。	自由回答	専門職の視点から、効果的な解決策を検討	—	11	
活動の状況	問12	現在、情報交換を行ったり、連携をしている相手先を選択してください。(あてはまるものすべてを選択)	1. 市役所 <input type="checkbox"/> 2. 社会福祉協議会 <input type="checkbox"/> 3. 自治会・町内会 4. 子ども会・シニアクラブ <input type="checkbox"/> 5. 当事者団体(障害者団体・患者支援団体など) <input type="checkbox"/> 6. 民生委員・児童委員 7. 保育園・幼稚園 <input type="checkbox"/> 8. 小学校・中学校 9. 高校・大学・専門学校 10. NPO・ボランティア 11. 商店街・商工会 <input type="checkbox"/> 12. 介護・福祉施設 <input type="checkbox"/> 13. 地域包括支援センター 14. 障害者相談支援センター・児童発達支援センター等 15. 警察・消防 <input type="checkbox"/> 16. 企業・事業所 17. 医療機関(病院、診療所、薬局など) 18. シルバー人材センター 19. 保護司 <input type="checkbox"/> 20. その他() <input type="checkbox"/> 21. 特になし	情報交換・連携の現状把握	5	12	項目整理(保護司追加) 団体調査と統一 選択肢修正
活動の状況	問12-1	問12で選択した相手先との具体的な連携内容をお書きください。	自由回答		5-1	12-1	
今後の活動	問13	今後、情報交換や連携を強めたい相手先を選択してください。(あてはまるものすべてを選択)	1. 市役所 <input type="checkbox"/> 2. 社会福祉協議会 <input type="checkbox"/> 3. 自治会・町内会 4. 子ども会・シニアクラブ <input type="checkbox"/> 5. 当事者団体(障害者団体・患者支援団体など) <input type="checkbox"/> 6. 民生委員・児童委員 7. 保育園・幼稚園 <input type="checkbox"/> 8. 小学校・中学校 9. 高校・大学・専門学校 10. NPO・ボランティア 11. 商店街・商工会 <input type="checkbox"/> 12. 介護・福祉施設 <input type="checkbox"/> 13. 地域包括支援センター 14. 障害者相談支援センター・児童発達支援センター等 15. 警察・消防 <input type="checkbox"/> 16. 企業・事業所 17. 医療機関(病院、診療所、薬局など) 18. シルバー人材センター 19. 保護司 <input type="checkbox"/> 20. その他() <input type="checkbox"/> 21. 特になし	情報交換・連携の希望把握と、今後新たに連絡会議等設定の際の参考	6	13	項目整理(保護司追加) 団体調査と統一 選択肢修正
今後の活動	問13-1	問13で選択した相手先と連携を強めたい具体的な理由をお書きください。	自由回答	連携強化に向けた具体的なニーズの把握	6-1	13-1	設問修正
今後の活動	問13-2	連携強化に向けて、必要な支援はありますか。(行政からの支援に限られません。)	自由回答	連携強化に向けた具体的なニーズの把握	6-2	13-2	

今回調査票(案)							
分類	番号	設問	選択肢	設問意図	前回調査	新番号	8/5委員会からの修正
福祉サービスの適切な利用の促進	問14	地域における福祉サービスの適切な利用の促進のために優先的に取り組むべき事項を選択してください。また、それぞれに取り組む際の具体的なアイデア・ご意見があればお書きください。(選択肢1～10のうち、3つまで選択)	1.福祉サービスの利用に関する情報提供 2.相談体制の確保 3.支援関係機関間の連携 4.社会福祉従事者の専門性の向上 5.ケアマネジメントの充実 6.ソーシャルワーク体制の整備 7.成年後見制度、日常生活自立支援事業、苦情解決制度など、適切なサービス利用を支援する仕組みの整備 8.サービスの評価やサービス内容の開示等による、利用者の適切なサービス選択の確保 9.避難行動要支援者の把握及び日常的な見守り・支援の推進方策 10.その他()	福祉サービスの適切な利用の促進に向けた優先事項の確認	7	14	選択肢修正
権利擁護	問15	権利擁護活動(福祉サービス受給のための支援、生活・金銭管理、施設内での虐待防止活動など)につながる取組を行っている場合、その内容をお書きください。(新)	自由回答	権利擁護に向けた取組の実施状況の把握	—	15	
権利擁護	問16	上記の権利擁護活動を円滑に進める上で、行政や専門機関等からの支援が必要と感じた場合、その内容をお書きください。(新)	自由回答	権利擁護に向けた取組に対する支援ニーズの把握	—	15-1	
住民の参加促進に向けて	問17	地域福祉に関する活動への住民の参加促進のために優先的に取り組むべき事項を選択してください。また、それぞれに取り組む際の具体的なアイデア・ご意見があればお書きください。(選択肢1～12のうち、3つまで選択)	1.活動に必要な情報の入手 2.活動に必要な知識 3.活動に必要な技術の習得 4.活動拠点に関する支援 5.地域住民の自主的な活動と公共的サービスの連携 6.地域の福祉の在り方について住民等の理解と関心を深めることによる主体的な生活者、地域の構成員としての意識の向上 7.住民等の交流会 8.勉強会等の開催 9.福祉活動専門員、社会福祉従事者等による福祉コミュニティづくり 10.民生委員・児童委員活動の充実に向けた環境整備 11.保護司活動の充実に向けた環境整備 12.その他()	地域福祉への住民参加促進に向けた優先事項の確認	8	16	
住民の参加促進に向けて	問18	コロナ禍を経て、地域福祉に関する活動への住民の参加促進に向けて課題となっていることがあれば、お書きください。(新)	自由回答	コロナ禍を経て残る課題の把握	—	17	

今回調査票(案)							
分類	番号	設問	選択肢	設問意図	前回調査	新番号	8/5委員会からの修正
包括的な支援体制の整備	問19	地域共生社会の実現に向けた包括的な支援体制の整備に関する事項として優先的に取り組むべき事項を選択してください。また、それぞれについて取り組んでいる事例や、取り組む際の具体的なアイデア・ご意見があればお書きください。(選択肢1~12のうち、3つまで選択)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域住民に福祉活動への参加を促している者に対する支援 2. 地域住民等が相互に交流を図ることができる拠点の整備 3. 地域住民等に対する研修の実施 4. 「住民に身近な圏域」において、地域生活課題に関する相談を包括的に受け止める体制の整備 5. 地域住民の相談を包括的に受け止める場の周知 6. 地域の関係者等との連携による地域生活課題の早期把握 7. 地域住民の相談を包括的に受け止める場における支援体制の構築 8. 協働の中核を担う機能(専門機関の中でリーダーシップをとること) 9. 支援に関する協議及び検討の場の拡充・新設 10. 支援を必要とする者の早期把握 11. 地域住民等との連携 12. その他() 	地域共生社会の実現に向けた優先事項の確認と、実現に向けたアイデア、地域資源の把握	9	18	
	問20	その他、地域福祉に関して、市・社会福祉協議会へご意見・ご提言等ありましたらお書きください。	自由回答		10	19	

第5期朝霞市地域福祉計画及び第5期朝霞市地域福祉活動計画
団体アンケート調査票 項目案

資料4

今回調査票(案)							
分類	番号	設問	選択肢	設問意図	前回調査	新番号	8/5委員会からの修正
I 貴団体について	概要	貴団体の概要についてお書きください。	団体の名称 代表者名 調査票記載者名 会員数 活動年数 主な活動内容 主な活動拠点	回答者の属性把握	-	-	
II 貴団体の活動について	問1	貴団体では、活動を行う上で地域にある他の団体・機関等との交流や連携、協力関係がありますか。(あてはまるものすべてを選択)	1. 市役所 <input type="checkbox"/> 2. 社会福祉協議会 <input type="checkbox"/> 3. 自治会・町内会 4. 子ども会・シニアクラブ <input type="checkbox"/> 5. 当事者団体(障害者団体・患者支援団体など) <input type="checkbox"/> 6. 民生委員・児童委員 7. 保育園・幼稚園 <input type="checkbox"/> 8. 小学校・中学校 9. 高校・大学・専門学校 10. NPO・ボランティア 11. 商店街・商工会 <input type="checkbox"/> 12. 介護・福祉施設 <input type="checkbox"/> 13. 地域包括支援センター 14. 障害者相談支援センター・児童発達支援センター等 15. 警察・消防 <input type="checkbox"/> 16. 企業・事業所 17. 医療機関(病院、診療所、薬局など) 18. シルバー人材センター 19. 保護司 <input type="checkbox"/> 20. その他() <input type="checkbox"/> 21. 特になし	情報交換・連携の現状把握	1	1	項目整理(保護司追加) 専門職調査と統一 選択肢修正
	問1-1	交流や連携、協力関係があると回答した団体・機関等とどのような関係がありますか。	自由記述	情報交換・連携の現状把握	1-1	1-1	
	問2	貴団体が活動を行う上で困っていることはどのようなことですか。(あてはまるものすべてを選択)	1. 活動のマンネリ化 2. 新しい活動者が入らない 3. リーダー(後継者)が育たない 4. 市民に情報発信する場や機会が乏しい 5. 人々のニーズに合った活動ができていない 6. 支援を必要とする人の情報が得にくい 7. 他の団体と交流する機会が乏しい 8. 活動の場所(拠点)の確保が難しい 9. 活動資金が足りない 10. 活動者の高齢化 11. その他() <input type="checkbox"/> 12. 特に困ったことはない	団体活動遂行上の困難・課題の把握	2	2	

今回調査票(案)							
分類	番号	設問	選択肢	設問意図	前回調査	新番号	8/5委員会からの修正
	問2-1	問2で挙げた課題解決のためには何が必要だと感じますか。	自由記述	団体活動遂行上の困難・課題解決に向けた方策の検討	2-1	2-1	
	問2-2	問2で挙げた課題解決のために、どのような機関・団体と連携したいですか。(あてはまるものすべてを選択)	1. 市役所 <input type="checkbox"/> 2. 社会福祉協議会 <input type="checkbox"/> 3. 自治会・町内会 4. 子ども会・シニアクラブ <input type="checkbox"/> 5. 当事者団体(障害者団体・患者支援団体など) <input type="checkbox"/> 6. 民生委員・児童委員 7. 保育園・幼稚園 <input type="checkbox"/> 8. 小学校・中学校 9. 高校・大学・専門学校 10. NPO・ボランティア 11. 商店街・商工会 <input type="checkbox"/> 12. 介護・福祉施設 <input type="checkbox"/> 13. 地域包括支援センター 14. 障害者相談支援センター・児童発達支援センター等 15. 警察・消防 <input type="checkbox"/> 16. 企業・事業所 17. 医療機関(病院、診療所、薬局など) 18. シルバー人材センター 19. 保護司 <input type="checkbox"/> 20. その他() <input type="checkbox"/> 21. 特になし	連携推進に向けた意向把握	2-2	2-2	項目整理(保護司追加) 専門職調査と統一 選択肢修正
	問3	貴団体では、団体の活動情報をどのように発信していますか。(あてはまるものすべてを選択)	1. 市の広報紙『広報あさか』 2. 社会福祉協議会の広報紙『社協あさか』 3. ボランティアニュース 4. チラシやパンフレットの配布(配布場所:) 5. ホームページ 6. SNS(新) 7. 市役所の窓口・掲示板 8. 活動者などによる口コミ 9. その他()	情報発信の状況把握	3	3	
	問4	貴団体では、団体の活動に必要な情報を主にどこから入手していますか。(あてはまるものすべてを選択)	1. 知り合いを通して 2. 市役所の窓口・掲示板 3. 市の広報紙『広報あさか』 4. 市のホームページ 5. 社会福祉協議会の窓口 6. 社会福祉協議会の広報紙『社協あさか』 7. 社会福祉協議会のホームページ 8. SNS(新) 9. 民生委員・児童委員を通して 10. 福祉サービスの事業所またはその職員 11. 他団体を通して 12. その他() <input type="checkbox"/> 13. 特になし	情報入手の状況把握	4	4	

今回調査票(案)							
分類	番号	設問	選択肢	設問意図	前回調査	新番号	8/5委員会からの修正
	問5	市民の方が気軽に活動に参加できるように、市民の方が貴団体の活動に単発で参加することは考えられますか。(1つを選択)	1. 固定の活動者での活動しか行えないため、そのような形は難しい 2. 活動の内容によっては、単発で参加してもらっても良い 3. 単発で良いので気軽に参加してほしい 4. その他()		5	5	選択肢修正 (具体的な内容の記述欄削除)
Ⅲ 地域について	問6	活動を通じて感じる、地域の問題点や課題はどのようなものですか。(あてはまるものすべてを選択)	1. あいさつをしない人が多い 2. 緊急時の対応体制がわからない 3. 犯罪・消費者被害の増加 4. 交通マナーの乱れ 5. 道ばたのごみが増えた 6. 地域での子どもの見守りがなされていない 7. 子どもや高齢者、障害者への虐待を身近に知っても、対処方法がわからない 8. 隣近所・世代間の交流が少ない 9. 地域の活動が不活発である 10. 地域の中で気軽に集まれる場が少ない 11. 障害のある人に対する理解が不足している 12. 健康に対する意識が低い 13. 福祉保健サービスについて市民に知られていない 14. 高齢一人暮らし世帯等、支援が必要な方の情報が手に入りにくい 15. ひきこもり状態の家族をかかえる家庭が増加している(新) 16. 大規模な風水害や地震時の避難と安否確認等、防災対策に不安がある 17. 生活困窮者への支援が不十分 18. その他()		6	6	項目の整理
	問7	活動地域に、ひきこもり状態に該当する方をどれくらい把握していますか。(1つを選択)(新)	1. 把握していない 2. 1人~5人 3. 6人~10人 4. 11人~15人 5. 16人~20人 6. 21人以上	ひきこもりの概況把握	-	7	
	問7-1	問7で「1.」以外の方把握している、ひきこもり状態に該当する方の年代を分かる範囲でお答えください。(あてはまるものすべてを選択)(新)	1. 把握していない 2. 中学生以下 3. 高校生 4. 高校卒業から30歳未満 5. 30代 6. 40代 7. 50代 8. 60代以上	ひきこもりの概況把握	-	7-1	新規追加

今回調査票(案)							
分類	番号	設問	選択肢	設問意図	前回調査	新番号	8/5委員会からの修正
	問8	ひきこもりの人への支援に関して、どのような支援があればよいと思いますか。次の中から選択してください。(あてはまるものすべてを選択) (新)	1. 医療支援・カウンセリング等の充実 2. 総合相談窓口の充実 3. 支援・相談窓口の周知・PR 4. 身近な地域での相談窓口の設置 5. ひきこもり家族教室の充実 6. 地域住民を対象とした講演会 7. 当事者の会 8. 家族会 9. その他()	団体活動者の視点から、効果的な支援策を検討	—	8	
	問9	貴団体では、地域での支え合いや孤独死・孤立死の防止等のために、支援者が必要な個人情報を共有することについてどのように思いますか。(1つを選択)	1. 積極的に共有すべき 2. 必要であれば共有してもよい 3. あまり共有したくない 4. 一切共有すべきではない 5. その他() 6. わからない	個人情報の取り扱いについての施策検討の参考	7	9	
	問10	すべての市民が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには、どのようなことが必要だと考えますか。(あてはまるものすべてを選択)	1. 日常生活に関する身近な相談窓口の整備 2. 地域の人交流できる場の整備 3. ネットワーク作り、見守り体制の整備 4. 買い物がしやすい環境づくり 5. バスなどの公共交通手段の整備 6. 支援が必要な人への支援 7. 支援が必要な人への理解の増進(新) 8. 自主防災組織等の整備 9. 災害時における体制の整備 10. 道路や建物のバリアフリー整備 11. スポーツや文化教養活動の環境整備 12. 公園や緑地などの自然環境の整備□ 13. その他()	今後の施策推進の参考	8	10	
IV 地域共生社会の実現に向けて	問11	地域における福祉サービスの適切な利用の促進のために優先的に取り組むべき事項を選択してください。また、それぞれに対して、貴団体で取り組み可能な具体的なアイデア・ご意見があればお書きください。(選択肢1～10のうち、3つまで選択)	1. 福祉サービスの利用に関する情報提供 2. 相談体制の確保 3. 支援関係機関間の連携 4. 社会福祉従事者の専門性の向上 5. ケアマネジメント 6. ソーシャルワーク体制の整備 7. 成年後見制度、日常生活自立支援事業、苦情解決制度など、適切なサービス利用を支援する仕組みの整備 8. サービスの評価やサービス内容の開示等による、利用者の適切なサービス選択の確保 9. 避難行動要支援者の把握及び日常的な見守り・支援の推進方策 10. その他()	福祉サービスの適切な利用の促進に向けた優先事項の確認	9	11	

今回調査票(案)							
分類	番号	設問	選択肢	設問意図	前回調査	新番号	8/5委員会からの修正
	問12	地域福祉に関する活動への住民の参加促進のために、優先的に取り組むべき事項を選択してください。また、選択した項目に対して、貴団体で取り組み可能な具体的なアイデア・ご意見があればお書きください。(選択肢1~12のうち、3つまで選択)	1.活動に必要な情報の入手 2.活動に必要な知識 3.活動に必要な技術の習得 4.活動拠点に関する支援 5.地域住民の自主的な活動と公共的サービスの連携 6.地域の福祉の在り方について住民等の理解と関心を深めることによる主体的な生活者、地域の構成員としての意識の向上 7.住民等の交流会 8.勉強会等の開催 9.福祉活動専門員、社会福祉従事者等による福祉コミュニティづくり 10.民生委員・児童委員活動の充実に向けた環境整備 11.保護司活動の充実に向けた環境整備 12.その他()	地域福祉への住民参加促進に向けた優先事項の確認	10	12	
	問13	包括的な支援体制の整備に関する事項として優先的に取り組むべき事項を選択してください。また、選択した項目に対して、貴団体で取り組み可能な具体的なアイデア・ご意見があればお書きください。(選択肢1~12のうち、3つまで選択)	1.地域福祉に関する活動への、地域住民の参加を促す活動を行う者に対する支援 2.地域住民等が相互に交流を図ることができる拠点の整備 3.地域住民等に対する研修の実施 4.「住民に身近な圏域」において、地域生活課題に関する相談を包括的に受け止める体制の整備 5.地域住民の相談を包括的に受け止める場の周知 6.地域の関係者等との連携による地域生活課題の早期把握 7.地域住民の相談を包括的に受け止める場における支援体制の構築 8.協働の中核を担う機能(専門機関の中でリーダーシップをとること) 9.支援に関する協議及び検討の場 10.支援を必要とする者の早期把握 11.地域住民等との連携 12.その他()	包括的な支援体制の整備に向けた優先事項の確認と、整備に向けたアイデア、地域資源の把握	11	13	
V 今後の活動に向けて	問14	身近に困っている人がいるとき、貴団体ではどのような手助けができますか、又はやりたいですか。現在の活動状況に限定せず、できること、やりたいことをお答えください。	自由記述	潜在的な地域資源の把握	12	14	
	問15	今後、活動団体が増えていく、また継続していくためには、どのようなことが必要と考えますか。	自由記述	活動団体の活性化に向けた支援の方向性の参考	13	15	
	問16	貴団体が活動をしていく上で、市役所・社会福祉協議会に望むことはどのようなことですか。(あてはまるものすべてを選択)	1.団体や活動についてのPR 2.活動上必要な情報の提供 3.活動場所の提供 4.会員募集の支援 5.リーダーの養成支援 6.経済的支援(活動資金など) 7.他団体とのネットワーク化 8.団体運営上の助言 9.設備・備品の充実 10.成果の発表の場の提供 11.協働による活動の展開(新) 12.その他() <input type="checkbox"/> 13.特にない	活動団体の活性化に向けた支援の方向性の参考	14	16	

今回調査票(案)							
分類	番号	設問	選択肢	設問意図	前回調査	新番号	8/5委員会からの修正
	問17	その他福祉環境をよくするためのご意見・ご提言等ありましたらお書きください。	自由記述		15	17	
	問18	本アンケート調査票にご回答いただいた団体を対象に、後日分野ごとのグループヒアリングを実施する予定です。グループヒアリングへの参加意思をお答えください。(1つを選択)	1.参加したい 2.参加は難しい		16	18	
	問18-1	問18で「1」の方 グループヒアリングのご案内をさせていただく際のご連絡先をお書き下さい。	[電話] [E-mail]		16-1	18-1	

第5期朝霞市地域福祉計画及び第5期朝霞市地域福祉活動計画
子どもアンケート調査票 項目案(小5、中2、高2)

資料5

対象者：小5、中2、高2

配布件数：1,000件

実施方法：郵送配布・回収、ウェブ回答フォームの併用

今回調査票(案)		
番号	設問	選択肢
1	あなたの性別を教えてください。(1つを選ぶ)	1. 男性 <input type="checkbox"/> 2. 女性 3. 答えたくない
2	あなたの学年を教えてください。(1つを選ぶ)	1. 小学5年生 2. 中学2年生 3. 高校2年生
3	みんなが地域で安心して暮らせるために必要なことはどれだと思いますか。(あてはまるものすべてを選ぶ)	1. 自分でできることは自分でする 2. 人のめいわくになるようなことはしないようにする 3. 近所の人どうしてあいさつや声をかけ合う 4. こまっている人がいたら、先生や大人に知らせる 5. ちいきを良くするために市民同士が協力する 6. その他()
4	家の生活であなたが悩んだり心配していることはどんなことですか?	自由記述
5	学校の生活であなたが悩んだり心配していることはどんなことですか?	自由記述
6	ふだんのなやみごとをだれに相談しますか。(あてはまるものすべてを選ぶ)	1. 家族 2. 友達 3. 習い事やじゅくの先生 4. 近所の人 5. 学校の先生 6. 学校の相談員 7. その他() 8. 相談する必要はない 9. 相談できる人はいない
7	あなたは朝霞市に愛着がありますか。(1つを選ぶ) (市民と共通)	1. とてもある <input type="checkbox"/> 2. 少しある 3. どちらともいえない <input type="checkbox"/> 4. あまりない 5. まったくない <input type="checkbox"/>
8	あなたの住んでいる地域の大人に望むことは何ですか。(あてはまるものすべてを選ぶ)	1. 自分たちの安全を見守ってほしい 2. 挨拶を交わしてほしい 3. 地域の行事に参加させてほしい 4. 世の中のいろいろなことについて教えてほしい 5. 困ったときに相談にのってほしい 6. その他() 7. 特に望むことはない
9	どのようなまちになれば、大人になっても住み続けたいと思いますか。(あてはまるものすべてを選ぶ)	1. 地域の人たちと交流がある 2. 楽しい祭りやイベントがある 3. 公園や緑が豊かにある 4. 職場や学校が近くにある 5. 交通の便がよい 6. 日常の買い物しやすい 7. 若者向けのお店がある 8. 困っている人がいたら助ける人がいる 9. その他() 10. 特にな 11. 今のままでよい

第5期朝霞市地域福祉計画及び第5期朝霞市地域福祉活動計画
子どもアンケート調査票 項目案(小5、中2、高2)

資料5-2

対象者：小5、中2、高2

配布件数：1,000件

実施方法：郵送配布・回収、ウェブ回答フォームの併用

調査票(案)		
番号	設問	選択肢
1	あなたの性別を教えてください。(1つを選ぶ)	1. 男性 <input type="checkbox"/> 2. 女性 3. 答えたくない
2	あなたの学年を教えてください。(1つを選ぶ)	1. 小学5年生 2. 中学2年生 3. 高校2年生
3	みんなが地域で安心して暮らせるために必要なことはどれだと思いますか。(あてはまるものすべてを選ぶ)	1. 自分でできることは自分でする 2. 人のめいわくになるようなことはしないようにする 3. 近所の人どうしてあいさつや声をかけ合う 4. こまっている人がいたら、先生や大人に知らせる 5. ちいきを良くするために市民同士が協力する 6. その他()
4	ふだんのなやみごとをだれに相談しますか。(あてはまるものすべてを選ぶ)	1. 家族 2. 友達 3. 習い事やじゅくの先生 4. 近所の人 5. 学校の先生 6. 学校の相談員 7. その他() 8. 相談する必要はない 9. 相談できる人はいない
5	学校や仕事以外で、参加したことがある地域の活動を教えてください。また、今後参加してみたい活動はありますか。(①～⑬のそれぞれ、あてはまるものすべてを選択) ① 地域のお祭りや伝統行事に自ら関わる活動 ② 地域のレクリエーション(スポーツ活動や文化活動) ③ 地域の清掃・緑化活動など、環境保護やリサイクルに関する活動 ④ 地域の避難訓練や防災活動 ⑤ 子どもたちの指導や世話 ⑥ お年寄りのための活動 ⑦ 障害のある人のための活動 ⑧ 募金活動や献血 ⑨ 商店街の活性化など、まちづくりや地域活性化のための活動 ⑩ 外国人との交流や国際協力のための活動 ⑪ 地域等での音楽・演劇・ダンスなどの表現活動 ⑫ その他の地域活動(具体的に) ⑬ 特にない	1. 参加したことがある 2. 今後参加してみたい
6	上記で参加した活動が「特にない」を選んだ方のみ参加しなかった理由は何か。(3つまで選ぶ)	1. どのような活動があるか知らない 2. 忙しくて時間がない 3. 一緒に参加する友人がいない 4. 費用がかかる 5. 身近なところで参加できる活動がない 6. 自分の興味に合う活動がない 7. 活動できる日時に合うものがない 8. 人間関係が心配・面倒 9. 申し込みや参加の方法がわからない 10. 参加するきっかけがない 11. もともと興味・関心がない 12. その他()
7	あなたは朝霞市に愛着がありますか。(1つを選ぶ) (市民と共通)	1. とてもある <input type="checkbox"/> 2. 少しある 3. どちらともいえない <input type="checkbox"/> 4. あまりない 5. まったくない <input type="checkbox"/>

調査票(案)		
番号	設問	選択肢
8	あなたは日常生活でニュースなどの情報をどのように入手していますか。 (あてはまるものすべてを選択)	1. テレビ 2. 新聞 3. ラジオ 4. インターネット 5. SNS 6. アプリ 7. その他() 8. 入手していない
9	あなたが利用しているSNSは何ですか。(あてはまるものすべてを選択)	1. LINE 2. Facebook 3. X(Twitter) 4. Messenger 5. YouTube 6. Instagram 7. その他() 8. 利用していない

朝霞市の地域福祉に関する 市民アンケート調査ご協力をお願い（市民）

日ごろから朝霞市の市政にご協力いただき、誠にありがとうございます。

この度、朝霞市と朝霞市社会福祉協議会では、協働して令和8年度を初年度とする「第5期朝霞市地域福祉計画・地域福祉活動計画」を策定いたします。そこで、市民の皆様の地域福祉に対するご意見等を計画策定の参考にさせていただきたく、住民基本台帳に登録されている18歳以上の方の中から3,000人を無作為に選び、アンケート調査を実施することといたしました。

このアンケートの調査結果は、上記の目的以外に利用することはありません。また、個人が特定できないよう処理し、朝霞市のホームページなどで結果をお知らせいたします。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解いただき、調査票のご回答にご協力くださいますよう、お願いいたします。

令和6年11月
朝霞市長 富岡 勝則
社会福祉法人朝霞市社会福祉協議会会長 松尾 哲

ご回答にあたって

- この調査票は、あて名のご本人がご回答ください。何らかの理由でご本人による記入が難しい場合、家族や介護者があて名のご本人の立場で代筆していただいても構いません。
- 答えにくい質問には回答いただかなくても構いませんので、可能な範囲でご回答ください。
- ご回答は、このアンケート調査票に記入いただくか、下の URL を直接入力または右下の二次元コードを読み取ってご回答ください。



二次元コード

- ウェブでのご回答は11月29日（金）までをお願いいたします。
調査票でのご回答の場合も、11月29日（金）までに投函してください。

【このアンケートについてのお問い合わせ先】

朝霞市 福祉部 福祉相談課 地域福祉係

電話番号：048-463-1594（直通）

F A X：048-463-1025

あなたについて

問1 あなたのお住まいはどの地区ですか。(1つを選択)

1. 第1圏域【大字上内間木、大字下内間木、宮戸、大字宮戸、朝志ヶ丘】
2. 第2圏域【東弁財、西弁財、三原、泉水】
3. 第3圏域【本町1・2丁目、溝沼1~5丁目、大字溝沼、膝折町3~5丁目】
4. 第4圏域【仲町、根岸台、大字根岸、大字台】
5. 第5圏域【青葉台、栄町、幸町、膝折町1・2丁目、大字膝折、本町3丁目】
6. 第6圏域【北原、西原、浜崎、大字浜崎、田島、大字田島、岡、大字岡、溝沼6・7丁目】

問2 あなたは、朝霞市にお住まいになってどのくらいになりますか。延べ年数でお答えください。
(1つを選択)

1. 5年未満
2. 5~9年
3. 10~19年
4. 20~29年
5. 30~49年
6. 50年以上

問3 あなたの性別をお答えください。(1つを選択)

1. 男性
2. 女性
3. 答えたくない

問4 あなたの職業をお答えください。(1つを選択)

1. 会社員・役員
2. 自営業・フリーランス
3. 専門職
4. 公務員・教員
5. 学生
6. 専業主婦・専業主夫
7. パート・アルバイト
8. 無職
9. その他()

問5 あなたの年齢をお答えください。(1つを選択)

1. 18~29歳
2. 30~39歳
3. 40~49歳
4. 50~59歳
5. 60~69歳
6. 70~79歳
7. 80歳以上

問6 あなたの同居している世帯・家族の構成をお答えください。(1つを選択)

1. 単身
2. 夫婦のみ
3. 親と子(2世代)
4. 親と子と孫(3世代)
5. 兄弟や親族
6. その他()

暮らしの状況について

問7 あなた自身もしくは、ご家族の中で該当する方はいますか。(あてはまるものすべてを選択)

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. 介護保険のサービスを受けている | 2. 障害福祉のサービスを受けている |
| 3. 家族の介護・介助をしている | 4. 18歳未満の子がいる |
| 5. 高齢者(65歳以上)のみである | 6. 外国籍である |
| 7. 引きこもりの状態である | 8. いずれもない |

問8 自分や家族は、生活上の問題や悩み事について、相談や支援を十分に受けられていますか。
(1つを選択)

- | | | |
|---------------|--------------------|--------------|
| 1. 十分受けている | 2. ある程度受けている | 3. あまり受けていない |
| 4. ほとんど受けていない | 5. どこに相談してよいかわからない | |
| 6. 相談したくない | 7. 問題や悩み事は特にない | |

問9 あなたにとって、朝霞市は5年前と比べて暮らしやすいですか。(1つを選択)

- | | | |
|-----------------|--------------|-------------|
| 1. 暮らしやすくなった | 2. 暮らしにくくなった | 3. あまり変わらない |
| 4. 居住期間が短く分からない | 5. どちらともいえない | |

近所付き合いについて

問10 5年前と比べて、普段の近所付き合いはどのように変化しましたか。(1つを選択)

- | | | |
|------------------|------------------|-------------|
| 1. 近所付き合いはかなり減った | 2. 近所付き合いは少し減った | 3. 大きな変化はない |
| 4. 近所付き合いは少し増えた | 5. 近所付き合いはかなり増えた | |
| 6. 居住期間が短く分からない | 7. その他() | |
| 8. わからない | | |

問11 あなたは、普段の近所付き合いを今後どうしたいと思いますか。(1つを選択)

- | | | |
|----------------|-------------|---------------------|
| 1. 近所付き合いを深めたい | 2. 現状のままでよい | 3. 近所付き合いをなるべくしたくない |
| 4. 近所付き合いをやめたい | 5. その他() | |

問11で「1.」を選んだ方

問11-1 近所との付き合いを深めるためのきっかけとして、どのようなものが必要だと思えますか。
(あてはまるものすべてを選択)

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1. 自治会・町内会・子ども会等 | 2. 近隣の清掃活動 |
| 3. 趣味を通じたサークル活動等 | 4. ボランティアや福祉に関する講座 |
| 5. 地域懇談会(茶話会) | 6. 防災訓練、避難所体験等 |
| 7. 気軽に集える場所 | 8. 地域の見守り、声掛け活動 |
| 9. 子どものつながり | 10. その他() |

朝霞市社会福祉協議会（朝霞市社協）について

問12 朝霞市社会福祉協議会(朝霞市社協)の活動のうち、知っているものは何ですか。

(あてはまるものすべてを選択)

- | | |
|----------------------------------|------------|
| 1. 社協会員の募集 | 2. 共同募金運動 |
| 3. “住民参加型”在宅福祉サービス あいはあと事業 | |
| 4. 福祉サービス利用援助事業(あんしんサポートねっと) | |
| 5. ボランティアセンター事業 | 6. 福祉教育の実施 |
| 7. 福祉資金の貸付 | 8. 車いすの貸出 |
| 9. 広報紙「社協あさか」の発行 | |
| 10. 朝霞市社協マスコットキャラクター アーシャ♡るくるん | |
| 11. 朝霞市社協は知っているが、活動で知っているものは特にない | |
| 12. 朝霞市社協自体を知らない | |

民生委員・児童委員、保護司について

問13 民生委員・児童委員の活動のうち、知っているものはありますか。(あてはまるものすべてを選択)

- | | |
|-------------------------------------|---------------------|
| 1. 日常生活の悩みや心配ごとの相談 | 2. 福祉に関する情報の提供 |
| 3. 地域住民の見守り | 4. 福祉サービス利用にあたっての支援 |
| 5. 地域の福祉課題を解決していくための仕組みづくり | |
| 6. 民生委員・児童委員は知っているが、活動で知っているものは特にない | |
| 7. 民生委員・児童委員自体を知らない | |

問14 保護司の活動のうち、知っているものはありますか。(あてはまるものすべてを選択)

- | | | |
|---------------|-------------------------------|-----------|
| 1. 保護観察 | 2. 生活環境調整 | 3. 犯罪予防活動 |
| 4. 社会を明るくする運動 | 5. 保護司は知っているが、活動で知っているものは特にない | |
| 6. 保護司自体を知らない | | |

身近な地域の課題について

問15 子ども・若者支援に関して、あなたの身近な地域で、今後優先的に取り組むべきと感じるものは次のどれですか。(2つまで選択)

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. ひとり親家庭の子育て支援 | 2. 共働き家庭の子育て支援 |
| 3. 乳幼児期の子どもを抱える家庭への支援 | 4. 子どもへの虐待(ぎゃくたい)防止対策 |
| 5. 子どもの貧困対策 | 6. ヤングケアラー対策 |
| 7. 青少年の健全育成、犯罪や非行の防止 | 8. その他() |
| 9. 特にない | |

問16 高齢者支援に関して、あなたの身近な地域で、今後優先的に取り組むべきと感じるものは次のどれですか。(2つまで選択)

- | | |
|---------------------------------|----------------|
| 1. 高齢者の社会参加や生きがいづくりに対する支援 | |
| 2. 高齢者世帯の生活支援(声かけや安否確認、買い物支援など) | |
| 3. 高齢者への虐待(ぎゃくたい)防止対策 | 4. 孤立(孤独死)防止対策 |
| 5. 介護者、介助者への情報提供などの支援 | 6. その他() |
| 7. 特にない | |

問17 障害者支援に関して、あなたの身近な地域で、今後優先的に取り組むべきと感じるものは次のどれですか。(2つまで選択)

- | | |
|----------------------------|----------------|
| 1. 障害のある人が地域で自立して生活するための支援 | |
| 2. 障害のある人に対する地域の理解、交流の支援 | |
| 3. 障害のある人への虐待(ぎゃくたい)防止対策 | 4. バリアフリー環境の整備 |
| 5. 介護者、介助者への情報提供などの支援 | 6. その他() |
| 7. 特にない | |

問18 その他の支援に関して、あなたの身近な地域で、今後優先的に取り組むべきと感じるものは次のどれですか。(2つまで選択)

- | | |
|------------------------------|--------------------|
| 1. 生活習慣病予防など健康づくりへの取り組み支援 | |
| 2. 災害が発生した際の安否確認や避難誘導などの防災活動 | |
| 3. 地域で孤立している人への支援 | |
| 4. 振り込め詐欺などの消費者被害の防止などの防犯活動 | |
| 5. 生活困窮者への支援 | 6. 仕事に就けない人への就労支援 |
| 7. 外国人市民の地域での生活に対する支援 | 8. 過去に罪を犯した人への更生支援 |
| 9. 空き家対策 | 10. ひきこもりの人への支援 |
| 11. 住民同士のつながりづくり | 12. 居住に課題を抱える人への支援 |
| 13. 自殺防止対策 | |
| 14. 市民後見人の育成などの権利擁護への取り組み支援 | |
| 15. その他() | 16. 特にない |

問19 あなたの身近な地域で、孤立や虐待などの状況を見たり聞いたりしたことがありますか。(1つを選択)

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

問20 もし、あなたの周辺で孤立や虐待(ぎゃくたい)(児童、高齢者、障害のある人)などの状況を知ったら、最初になんのように対応しますか。(1つを選択)

- | | |
|-------------------|--------------------------|
| 1. 直接訪問する | 2. 近隣の人に相談する |
| 3. 自治会・町内会役員に相談する | 4. 民生委員・児童委員に相談する |
| 5. 社会福祉協議会に相談する | 6. 市役所・児童相談所などの公的機関へ相談する |
| 7. 警察・交番に相談する | 8. その他() |
| 9. わからない | 10. 特に何もしない |

※虐待を受けたと思われる児童、高齢者、障がいのある人を発見した人は、市町村等へ速やかに通報する義務が法令で定められています。

- 朝霞市こども未来課 048-463-0364
- 朝霞市長寿はつらつ課 048-483-4520
- 朝霞市役所障害福祉課 048-463-1598
- 埼玉県虐待通報ダイヤル(24時間365日対応) #7171 (つながらない場合は、048-762-7533)
- 児童相談所虐待対応ダイヤル 189(いちはやく)

コミュニティ活動について

問21 あなたは日頃、地域の自治会・町内会活動やボランティア団体などで、コミュニティ活動をしていますか。(1つを選択)

- | | |
|---------------------------|-----------------------|
| 1. 自治会・町内会活動 | 2. 清掃活動や福祉ボランティア活動 |
| 3. 子ども会・老人クラブなどの地域活動 | 4. 音楽・舞踊などの文化芸術活動 |
| 5. スポーツ・レクリエーションなどのサークル活動 | 6. 祭りや各種イベントなどの地域行事活動 |
| 7. その他の活動() | 8. 特にない |

問22 あなたは今後機会があれば、どのようなコミュニティ活動をしてみたいですか。(1つを選択)

- | | |
|---------------------------|-----------------------|
| 1. 自治会・町内会活動 | 2. 清掃活動や福祉ボランティア活動 |
| 3. 子ども会・老人クラブなどの地域活動 | 4. 音楽・舞踊などの文化芸術活動 |
| 5. スポーツ・レクリエーションなどのサークル活動 | 6. 祭りや各種イベントなどの地域行事活動 |
| 7. その他の活動() | 8. 特にない |

問23 コミュニティ活動に参加して良かったと思うことは何ですか。(あてはまるものすべてを選択)

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1. 新しい仲間ができた | 2. 年齢の異なる人と交流できた |
| 3. 活動の楽しさがわかった | 4. 活動を通じて地域に貢献できた |
| 5. 地域の良さに気付くことができた | 6. 地域の人に感謝された・役に立てた |
| 7. 自分の経験や知識などを活かせた | 8. その他() |
| 9. 特にない | |

問24 あなたは、地域に困っている世帯がある場合、現在既に「手助けしていること」や今後「手助けできること」はありますか。また、現在もしくは将来的に、あなた自身が地域の人に「手助けしてもらいたいこと」はありますか。(①～⑱のそれぞれ、あてはまるものすべてを選択)

	手助けしていること	手助けできること	手助けしてもらいたいこと
① 安否確認の声かけ	1	2	3
② 話し相手	1	2	3
③ 困りごとなどの相談	1	2	3
④ 日用品などのちょっとした買い物	1	2	3
⑤ 電球交換などのちょっとした作業	1	2	3
⑥ ごみ出し	1	2	3
⑦ 家の中の掃除や洗濯	1	2	3
⑧ 庭の手入れ	1	2	3
⑨ 食事づくり	1	2	3
⑩ 短時間の子どもの預かり	1	2	3
⑪ 保育園・幼稚園の送迎	1	2	3
⑫ 散歩の付き添い	1	2	3
⑬ 通院の付き添い(送迎)	1	2	3
⑭ 病気の時の看病	1	2	3
⑮ 経済的な支援	1	2	3
⑯ 防犯見回り、防災訓練などへの参加	1	2	3
⑰ 災害時・緊急時の手助け	1	2	3
⑱ 近所のイベントの手伝い	1	2	3
⑲ その他()	1	2	3

防災活動について

問25 防災に関連する項目について、①～⑥のそれぞれあてはまるものをお答えください。
(それぞれ1つを選択)

	はい	いいえ	わからない
① 身近な避難場所と行き方を知っていますか	1	2	3
② 地域の防災訓練に参加していますか	1	2	3
③ 地域の自主防災組織に参加していますか	1	2	3
④ 災害時に避難の手助けが必要ですか	1	2	3
⑤ 災害時に避難の手助けが必要な人が近所にいますか	1	2	3
⑥ 災害時に避難の手助けが必要な近所の人に、手助けをすることができますか	1	2	3

問26 災害時の備えとして、普段どのようなことをしていますか。(あてはまるものすべてを選択)

1. 携帯ラジオ・ライトなど防災関連の道具を準備している
2. 食料や飲料水を準備している
3. 常備薬・入れ歯や補聴器など無いと困るものを準備している
4. 避難する場所を決めている
5. 家具の転倒防止をしている
6. スリッパやくつなどをいつでも使えるように置いている
7. 貴重品などをすぐに持ち出せるように準備している
8. 耐震補強工事をしている
9. 市発行の地震・洪水ハザードマップで防災情報を確認している
10. 近所の人や知り合いと声をかけ合ったり、確認し合うことを話題にしている
11. その他()
12. 特に何もしていない

困りごとの相談について

問27 日常生活で困ったことがあった場合、どこに相談しますか。(あてはまるものすべてを選択)

- | | | |
|-------------------|----------------|--------------|
| 1. 市役所 | 2. 警察 | 3. 病院、診療所、薬局 |
| 4. 児童相談所 | 5. 学校、保育園、幼稚園 | 6. 社会福祉施設 |
| 7. 地域包括支援センター | 8. 社会福祉協議会 | 9. 民生委員・児童委員 |
| 10. 自治会・町内会の役員 | 11. ボランティア | 12. 友人・知人 |
| 13. 家族・親族 | 14. 福祉サービスの事業者 | 15. 近所の人 |
| 16. その他() | | |
| 17. 相談相手がない・わからない | 18. だれにも相談しない | |

※回答終了ページに、朝霞市の各種相談窓口一覧へのリンクがあります。

福祉施策について

問28 今後、朝霞市及び朝霞市社会福祉協議会で福祉のまちづくりを進めるためには、どのようなことが必要だと思えますか。(3つまで選択)

- | | |
|-----------------------------|------------------------|
| 1. 相談支援体制の整備 | 2. 社会福祉施設での地域住民との交流 |
| 3. だれにでもわかりやすい福祉情報の提供 | 4. 福祉関連事業所のつながり |
| 5. 在宅サービスの充実 | 6. 保健・医療・福祉の連携 |
| 7. 福祉サービスを受ける人の権利を守ること | 8. 福祉教育の充実(学校・地域) |
| 9. ボランティア・地域活動による生きがいづくり | 10. 災害時・緊急時の防災・安全対策の充実 |
| 11. 心と体の健康づくりに向けた講座・講習の充実 | 12. ボランティア活動の指導者の養成 |
| 13. 専門職同士の交流 | 14. 住民が自主的に活動できる場所の提供 |
| 15. 子育て世代など孤立しがちな人たちの居場所づくり | |
| 16. 市の福祉の予算の増額を図ること | 17. その他() |

問32で「2.」または「3.」を選んだ方のみ

問32-2 「利用したくない」あるいは「わからない」と答えた理由は何ですか。(1つを選択)

1. 制度の内容や利用方法がよくわからない
2. 制度を利用する際の手続きが複雑そうである
3. 他人に財産管理を任せることに抵抗がある
4. 利用するための費用(経済的負担)がかかる
5. 制度を利用せずに配偶者や子どもなどの親族に任せたい
6. その他()
8. 特に理由はない

問33 最後に、これからの地域福祉の取組について、ご意見などがありましたら自由にご記入ください。

(自由記述)

調査にご協力いただき、ありがとうございました。

朝霞市の各種相談窓口一覧へのリンクです(下記 URL をご参照ください)。

<https://www.city.asaka.lg.jp/soshiki/12/soudan-ichiran.html>

朝霞市の地域福祉に関する 市民アンケート調査ご協力をお願い（専門職）

日ごろから朝霞市の市政にご協力いただき、誠にありがとうございます。

この度、朝霞市と朝霞市社会福祉協議会では、協働して令和8年度を初年度とする「第5期朝霞市地域福祉計画・地域福祉活動計画」を策定いたします。そこで、市内で福祉・医療・介護または教育・保育機関で業務を行う皆様から、地域福祉に対するご意見等をうかがい、計画策定の参考にさせていただきたく、アンケート調査を実施することといたしました。

このアンケートの調査結果は、上記の目的以外に利用することはありません。また、個人が特定できないよう処理し、朝霞市のホームページなどで結果をお知らせいたします。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解いただき、調査票のご回答にご協力くださいますよう、お願いいたします。

令和6年11月
朝霞市長 富岡 勝則
社会福祉法人朝霞市社会福祉協議会会長 松尾 哲

ご回答にあたって

- この調査票は、専門分野ごとに送付しており、複数の専門分野にまたがる施設等に複数の調査票が届く場合がございます。お手数ですが、各々ご回答ください。
- 答えにくい質問には回答いただかなくても構いませんので、可能な範囲でご回答ください。
- ご回答は、このアンケート調査票に記入いただくか、下の URL を直接入力または右下の二次元コードを読み取ってご回答ください。



二次元コード

- ウェブでのご回答は 11月29日（金） までをお願いいたします。
調査票でのご回答の場合も、11月29日（金） までに投函してください。

【このアンケートについてのお問い合わせ先】

朝霞市 福祉部 福祉相談課 地域福祉係

電話番号：048-463-1594（直通）

F A X：048-463-1025

あなたについて

問1 あなたの現在の職種をお書きください。(複数記載可)

記入例：介護施設職員、保育士、教諭、保健師、民生委員・児童委員、保護司など

問2 あなたの現在の職種での延べ経験年数をお選びください。(1つを選択)

- | | |
|---------------|--------------|
| 1. 1年未満 | 2. 1年以上3年未満 |
| 3. 3年以上5年未満 | 4. 5年以上10年未満 |
| 5. 10年以上20年未満 | 6. 20年以上 |

問3 あなたの関わる専門分野をお選びください。(あてはまるものすべてを選択)

- | | |
|---------------|----------|
| 1. 子ども・若者支援 | 2. 高齢者支援 |
| 3. 障害者支援 | 4. 保健・医療 |
| 5. 防犯・防災・交通安全 | 6. 就労支援 |
| 7. その他() | |

地域の課題について

問4 子ども・若者支援に関して、最近、地域で気になる課題がありますか。優先的に解決すべき事項を選択してください。また、それぞれに取り組む際の解決に向けたアイデア・ご意見があればお書きください。(2つまで選択)

子ども・若者支援	解決に向けたアイデア・ご意見
1. ひとり親家庭の子育て支援	
2. 共働き家庭の子育て支援	
3. 乳幼児期の子どもを抱える家庭への支援	
4. 子どもへの虐待(ぎゃくたい)防止対策	

子ども・若者支援	解決に向けたアイデア・ご意見
5. 子どもの貧困対策	
6. 不登校児および 家族への支援	
7. ヤングケアラーへの 支援	
8. 青少年の健全育成、 犯罪や非行	
9. その他 ()	
10. 特になし	

問5 高齢・介護に関して、最近、地域で気になる課題がありますか。優先的に解決すべき事項を選択してください。また、それぞれに取り組む際の解決に向けたアイデア・ご意見があればお書きください。
(2つまで選択)

高齢・介護	解決に向けたアイデア・ご意見
1. 高齢者の社会参加や 生きがいづくりに対する 支援	
2. 高齢者世帯の生活 支援(声かけや安否 確認、買い物支援など)	
3. 高齢者への虐待 (ぎゃくたい)防止対策	

高齢・介護	解決に向けたアイデア・ご意見
4. 高齢者の孤立 (孤独死)防止対策	
5. 高齢者の介護者、 介助者への情報提供 などの支援	
6. 独居高齢者への支援	
7. その他 ()	
8. 特にない	

問6 障害者支援に関して、最近、地域で気になる課題がありますか。優先的に解決すべき事項を選択してください。また、それぞれに取り組む際の解決に向けたアイデア・ご意見があればお書きください。
(2つまで選択)

障害者支援	解決に向けたアイデア・ご意見
1. 障害のある人が地域 で自立して生活するた めの支援	
2. 障害のある人に対す る地域の理解、交流の 支援	
3. 障害のある人への 虐待(ぎゃくたい)防止 対策	
4. バリアフリー環境の 整備	

障害者支援	解決に向けたアイデア・ご意見
5. 障害のある人の介護者、介助者への情報提供などの支援	
6. その他 ()	
7. 特にない	

問7 その他の支援に関して、最近、地域で気になる課題がありますか。優先的に解決すべき事項を選択してください。また、それぞれに取り組む際の解決に向けたアイデア・ご意見があればお書きください。
(3つまで選択)

その他の支援	解決に向けたアイデア・ご意見
1. 生活習慣病予防など健康づくりへの取り組み支援	
2. 災害が発生した際の安否確認や避難誘導などの防災活動	
3. 地域で孤立している人への支援	
4. 振り込め詐欺などの消費者被害の防止などの防犯活動	
5. 生活困窮者への支援	
6. 仕事に就けない人への就労支援	

その他の支援	解決に向けたアイデア・ご意見
7. 外国人市民の地域での生活に対する支援	
8. 過去に罪を犯した人への更生支援	
9. 空き家対策	
10. ひきこもりの人への支援	
11. 住民同士のつながりの欠如	
12. 居住に課題を抱える人への支援	
13. 自殺防止対策	
14. 成年後見制度の理解の普及	
15. 市民後見人の育成などの権利擁護への取り組み支援	
16. 地域住民等が集う拠点の整備	
17. 分野別の圏域	

その他の支援	解決に向けたアイデア・ご意見
18. 福祉に関する情報提供	
19. 分野横断的な困難事例の増加	
20. その他 ()	

問8 専門職としての関わりの中で、ひきこもり状態に該当する方をどれくらい把握していますか。
(1つを選択)

1. 把握していない	2. 1人~5人	3. 6人~10人
4. 11人~15人	5. 16人~20人	6. 21人以上

問8で「1.」以外の方

問8-1 把握している、ひきこもり状態に該当する方の年代を分かる範囲でお答えください。
(あてはまるものすべてを選択)

1. 把握していない	2. 中学生以下	3. 高校生
4. 高校卒業から30歳未満	5. 30代	6. 40代
7. 50代	8. 60代以上	

問9 専門職の立場から、ひきこもりの人への支援に関して、どのような支援があればよいと思いますか。
次の中から選択してください。(あてはまるものすべてを選択)

1. 医療支援・カウンセリング等の充実	2. 総合相談窓口の充実
3. 支援・相談窓口の周知・PR	4. 身近な地域での相談窓口の設置
5. 引きこもり家族教室の充実	6. 地域住民を対象とした講演会
7. 当事者の会	8. 家族会
9. その他()	

問10 最近、制度上のサービスでは解決できずに困っている問題・事例(制度のはざまの問題、分野横断的な課題への対応など)がありますか。(自由記述)

問11 問10で書かれた問題・事例に対して、解決に向けたアイデア・ご意見がありましたらお書きください。(自由記述)

活動の状況について

問12 現在、情報交換を行ったり、連携をしている相手先を選択してください。
(あてはまるものすべてを選択)

- | | |
|-----------------------------|----------------|
| 1. 市役所 | 2. 社会福祉協議会 |
| 3. 自治会・町内会 | 4. 子ども会・シニアクラブ |
| 5. 当事者団体(障害者団体・患者支援団体など) | |
| 6. 民生委員・児童委員 | 7. 保育園・幼稚園 |
| 8. 小学校・中学校 | 9. 高校・大学・専門学校 |
| 10. NPO・ボランティア | 11. 商店街・商工会 |
| 12. 介護・福祉施設 | 13. 地域包括支援センター |
| 14. 障害者相談支援センター・児童発達支援センター等 | |
| 15. 警察・消防 | 16. 企業・事業所 |
| 17. 医療機関(病院、診療所、薬局など) | 18. シルバー人材センター |
| 19. 保護司 | 20. その他() |
| 21. 特になし | |

問12で「21.」以外の方

問12-1 問12で選択した相手先との具体的な連携内容をお書きください。(自由記述)

問13 今後、情報交換や連携を強めたい相手先を選択してください。(あてはまるものすべてを選択)

1. 市役所	2. 社会福祉協議会
3. 自治会・町内会	4. 子ども会・シニアクラブ
5. 当事者団体(障害者団体・患者支援団体など)	6. 民生委員・児童委員
7. 保育園・幼稚園	8. 小学校・中学校
9. 高校・大学・専門学校	10. NPO・ボランティア
11. 商店街・商工会	12. 介護・福祉施設
13. 地域包括支援センター	
14. 障害者相談支援センター・児童発達支援センター等	
15. 警察・消防	16. 企業・事業所
17. 医療機関(病院、診療所、薬局など)	18. シルバー人材センター
19. 保護司	20. その他()
21. 特になし	

問13で「21.」以外の方

問13-1 問13で選択した相手先と連携を強めたい具体的な理由をお書きください。(自由記述)

問13で「21.」以外の方

問13-2 連携強化に向けて、必要な支援はありますか(行政からの支援に限りません。)(自由記述)

問14 地域における福祉サービスの適切な利用の促進のために優先的に取り組むべき事項を選択してください。また、それぞれに取り組む際の具体的なアイデア・ご意見があればお書きください。
(選択肢1～10のうち、3つまで選択)

	具体的なアイデア・ご意見
1. 福祉サービスの利用に関する情報提供	
2. 相談体制の確保	
3. 支援関係機関間の連携	
4. 社会福祉従事者の専門性の向上	
5. ケアマネジメントの充実	
6. ソーシャルワーク体制の整備	
7. 成年後見制度、日常生活自立支援事業、苦情解決制度など、適切なサービス利用を支援する仕組みの整備	
8. サービスの評価やサービス内容の開示等による、利用者の適切なサービス選択の確保	
9. 避難行動要支援者の把握及び日常的な見守り・支援の推進方策	

問15 権利擁護活動(福祉サービス受給のための支援、生活・金銭管理、施設内での虐待防止活動など)につながる取組を行っている場合、その内容をお書きください。(自由記述)

--

問15に記入された方

問15-1 上記の権利擁護活動を円滑に進める上で、行政や専門機関等からの支援が必要と感じた場合、その内容をお書きください。(自由記述)

--

問16 地域福祉に関する活動への住民の参加促進のために優先的に取り組むべき事項を選択してください。また、それぞれに取り組む際の具体的なアイデア・ご意見があればお書きください。

(選択肢1～12のうち、3つまで選択)

	取り組む際の具体的なアイデア・ご意見
1. 活動に必要な情報の入手	
2. 活動に必要な知識	
3. 活動に必要な技術の習得	
4. 活動拠点に関する支援	

	取り組む際の具体的なアイデア・ご意見
5. 地域住民の自主的な活動と公共的サービスの連携	
6. 地域の福祉の在り方について住民等の理解と関心を深めることによる主体的な生活者、地域の構成員としての意識の向上	
7. 住民等の交流会	
8. 勉強会等の開催	
9. 福祉活動専門員、社会福祉従事者等による福祉コミュニティづくり	
10. 民生委員・児童委員活動の充実に向けた環境整備	
11. 保護司活動の充実に向けた環境整備	
12. その他 ()	

問17 コロナ禍を経て、地域福祉に関する活動への住民の参加促進に向けて課題となっていることがあれば、お書きください。(自由記述)

--

問18 地域共生社会の実現に向けた包括的な支援体制の整備に関する事項として優先的に取り組むべき事項を選択してください。また、それぞれについて取り組んでいる事例や、取り組む際の具体的なアイデア・ご意見があればお書きください。(選択肢1～12のうち、3つまで選択)

	取り組んでいる事例・具体的なアイデア・ご意見
1. 地域住民に福祉活動への参加を促している者に対する支援	
2. 地域住民等が相互に交流を図ることができる拠点の整備	
3. 地域住民等に対する研修の実施	
4. 「住民に身近な圏域」において、地域生活課題に関する相談を包括的に受け止める体制の整備	
5. 地域住民の相談を包括的に受け止める場の周知	
6. 地域の関係者等との連携による地域生活課題の早期把握	
7. 地域住民の相談を包括的に受け止める場における支援体制の構築	

	取り組んでいる事例・具体的なアイデア・ご意見
8. 協働の中核を担う機能（専門機関の中でリーダーシップをとること）	
9. 支援に関する協議及び検討の場の拡充・新設	
10. 支援を必要とする者の早期把握	
11. 地域住民等との連携	
12. その他 ()	

問19 その他、地域福祉に関して、市・社会福祉協議会へご意見・ご提言等ありましたらお書きください。
(自由記述)

調査にご協力いただき、ありがとうございました。

朝霞市の地域福祉に関する 市民アンケート調査ご協力のお願い（団体）

日ごろから朝霞市の市政にご協力いただき、誠にありがとうございます。

この度、朝霞市と朝霞市社会福祉協議会では、協働して令和8年度を初年度とする「第5期朝霞市地域福祉計画・地域福祉活動計画」を策定いたします。そこで、市内に組織されている福祉関係団体等の皆様から、地域福祉に対するご意見等をうかがい、計画策定の参考にさせていただきたく、アンケート調査を実施することといたしました。

このアンケートの調査結果は、上記の目的以外に利用することはありません。また、個人が特定できないよう処理し、朝霞市のホームページなどで結果をお知らせいたします。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解いただき、調査票のご回答にご協力くださいますよう、お願いいたします。

令和6年11月
朝霞市長 富岡 勝則
社会福祉法人朝霞市社会福祉協議会会長 松尾 哲

ご回答にあたって

■答えにくい質問には回答いただかなくても構いませんので、可能な範囲でご回答ください。

■ご回答は、このアンケート調査票に記入いただくか、下の URL を直接入力または右下の二次元コードを読み取ってご回答ください。



二次元コード

■ウェブでのご回答は 11月29日（金）まで にお願いたします。

調査票でのご回答の場合も、11月29日（金）まで に投函してください。

【このアンケートについてのお問い合わせ先】

朝霞市 福祉部 福祉相談課 地域福祉係

電話番号：048-463-1594（直通）

F A X：048-463-1025

問2 貴団体が活動を行う上で困っていることはどのようなことですか。(あてはまるものすべてを選択)

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 1. 活動のマンネリ化 | 2. 新しい活動者が入らない |
| 3. リーダー(後継者)が育たない | 4. 市民に情報発信する場や機会が乏しい |
| 5. 人々のニーズに合った活動ができていない | 6. 支援を必要とする人の情報が得にくい |
| 7. 他の団体と交流する機会が乏しい | 8. 活動の場所(拠点)の確保が難しい |
| 9. 活動資金が足りない | 10. 活動者の高齢化 |
| 11. その他() | 12. 特に困ったことはない |

問2で「12.」以外の方

問2-1 問2で挙げた課題解決のためには何が必要だと感じますか。(自由記述)

問2で「12.」以外の方

問2-2 問2で挙げた課題解決のために、どのような機関・団体と連携したいですか。

(あてはまるものすべてを選択)

- | | |
|-----------------------------|----------------|
| 1. 市役所 | 2. 社会福祉協議会 |
| 3. 自治会・町内会 | 4. 子ども会・シニアクラブ |
| 5. 当事者団体(障害者団体・患者支援団体など) | 6. 民生委員・児童委員 |
| 7. 保育園・幼稚園 | 8. 小学校・中学校 |
| 9. 高校・大学・専門学校 | 10. NPO・ボランティア |
| 11. 商店街・商工会 | 12. 介護・福祉施設 |
| 13. 地域包括支援センター | |
| 14. 障害者相談支援センター・児童発達支援センター等 | |
| 15. 警察・消防 | 16. 企業・事業所 |
| 17. 医療機関(病院、診療所、薬局など) | 18. シルバー人材センター |
| 19. 保護司 | 20. その他() |
| 21. 特になし | |

問3 貴団体では、団体の活動情報をどのように発信していますか。(あてはまるものすべてを選択)

- | | |
|--------------------------|-----------------------|
| 1. 市の広報紙『広報あさか』 | 2. 社会福祉協議会の広報紙『社協あさか』 |
| 3. ボランティアニュース | |
| 4. チラシやパンフレットの配布(配布場所:) | |
| 5. ホームページ | 6. SNS |
| 7. 市役所の窓口・掲示板 | 8. 活動者などによる口コミ |
| 9. その他() | |

問4 貴団体では、団体の活動に必要な情報を主にどこから入手していますか。

(あてはまるものすべてを選択)

- | | |
|-------------------|-----------------------|
| 1. 知り合いを通して | 2. 市役所の窓口・掲示板 |
| 3. 市の広報紙『広報あさか』 | 4. 市のホームページ |
| 5. 社会福祉協議会の窓口 | 6. 社会福祉協議会の広報紙『社協あさか』 |
| 7. 社会福祉協議会のホームページ | 8. SNS |
| 9. 民生委員・児童委員を通して | 10. 福祉サービスの事業所またはその職員 |
| 11. 他団体を通して | 12. その他() |
| 13. 特になし | |

問5 市民の方が気軽に活動に参加できるように、市民の方が貴団体の活動に単発で参加することは考えられますか。(1つを選択)

- | |
|----------------------------------|
| 1. 固定の活動者での活動しか行えないため、そのような形は難しい |
| 2. 活動の内容によっては、単発で参加してもらっても良い |
| 3. 単発で良いので気軽に参加してほしい |
| 4. その他() |

地域の課題について

問6 活動を通じて感じる、地域の問題点や課題はどのようなものですか。

(あてはまるものすべてを選択)

- | | |
|---------------------------------------|----------------------------|
| 1. あいさつをしない人が多い | 2. 緊急時の対応体制がわからない |
| 3. 犯罪・消費者被害の増加 | 4. 交通マナーの乱れ |
| 5. 道ばたのごみが増えた | 6. 地域での子どもの見守りがなされていない |
| 7. 子どもや高齢者、障害者への虐待を身近に知っても、対処方法が分からない | |
| 8. 隣近所・世代間の交流が少ない | 9. 地域の活動が不活発である |
| 10. 地域の中で気軽に集まれる場が少ない | |
| 11. 障害のある人に対する理解が不足している | |
| 12. 健康に対する意識が低い | 13. 福祉保健サービスについて市民に知られていない |
| 14. 高齢一人暮らし世帯等、支援が必要な方の情報が手に入りにくい | |
| 15. ひきこもり状態の家族をかかえる家庭が増加している(新) | |
| 16. 大規模な風水害や地震時の避難と安否確認等、防災対策に不安がある | |
| 17. 生活困窮者への支援が不十分 | |
| 18. その他() | |

問7 活動地域に、ひきこもり状態に該当する方をどれくらい把握していますか。(1つを選択)

1. 把握していない	2. 1人~5人	3. 6人~10人
4. 11人~15人	5. 16人~20人	6. 21人以上

問8 ひきこもりの人への支援に関して、どのような支援があればよいと思いますか。次の中から選択してください。(あてはまるものすべてを選択)

1. 医療支援・カウンセリング等の充実	2. 総合相談窓口の充実
3. 支援・相談窓口の周知・PR	4. 身近な地域での相談窓口の設置
5. 引きこもり家族教室の充実	6. 地域住民を対象とした講演会
7. 当事者の会	8. 家族会
9. その他()	

問9 貴団体では、地域での支え合いや孤独死・孤立死の防止等のために、支援者が必要な個人情報共有することについてどのように思いますか。(1つを選択)

1. 積極的に共有すべき	2. 必要であれば共有してもよい
3. あまり共有したくない	4. 一切共有すべきではない
5. その他()	
6. わからない	

問10 すべての市民が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには、どのようなことが必要だと考えますか。(あてはまるものすべてを選択)

1. 日常生活に関する身近な相談窓口の整備	2. 地域の人交流できる場の整備
3. ネットワーク作り、見守り体制の整備	4. 買い物がしやすい環境づくり
5. バスなどの公共交通手段の整備	6. 支援が必要な人への支援
7. 支援が必要な人への理解の増進	8. 自主防災組織等の整備
9. 災害時における体制の整備	10. 道路や建物のバリアフリー整備
11. スポーツや文化教養活動の環境整備	12. 公園や緑地などの自然環境の整備
13. その他()	

問11 地域における福祉サービスの適切な利用の促進のために優先的に取り組むべき事項を選択してください。また、それぞれに対して、貴団体で取り組み可能な具体的なアイデア・ご意見があればお書きください。(選択肢1~10のうち、3つまで選択)

	取り組み可能な具体的なアイデア・ご意見
1. 福祉サービスの利用に関する情報提供	

	取り組み可能な具体的なアイデア・ご意見
2. 相談体制の確保	
3. 支援関係機関間の連携	
4. 社会福祉従事者の専門性の向上	
5. ケアマネジメント	
6. ソーシャルワーク体制の整備	
7. 成年後見制度、日常生活自立支援事業、苦情解決制度など、適切なサービス利用を支援する仕組みの整備	
8. サービスの評価やサービス内容の開示等による、利用者の適切なサービス選択の確保	
9. 避難行動要支援者の把握及び日常的な見守り・支援の推進方策	
10. その他 ()	

問12 地域福祉に関する活動への住民の参加促進のために、優先的に取り組むべき事項を選択してください。また、選択した項目に対して、貴団体で取り組み可能な具体的なアイデア・ご意見があればお書きください。(選択肢1～12のうち、3つまで選択)

	取り組み可能な具体的なアイデア・ご意見
1. 活動に必要な情報の入手	
2. 活動に必要な知識	
3. 活動に必要な技術の習得	
4. 活動拠点に関する支援	
5. 地域住民の自主的な活動と公共的サービスの連携	
6. 地域の福祉の在り方について住民等の理解と関心を深めることによる主体的な生活者、地域の構成員としての意識の向上	
7. 住民等の交流会	
8. 勉強会等の開催	
9. 福祉活動専門員、社会福祉従事者等による福祉コミュニティづくり	

	取り組み可能な具体的なアイデア・ご意見
10. 民生委員・児童委員活動の充実に向けた環境整備	
11. 保護司活動の充実に向けた環境整備	
12. その他 ()	

問13 包括的な支援体制の整備に関する事項として優先的に取り組むべき事項を選択してください。また、選択した項目に対して、貴団体で取り組み可能な具体的なアイデア・ご意見があればお書きください。(選択肢1～12のうち、3つまで選択)

	取り組み可能な具体的なアイデア・ご意見
1. 地域福祉に関する活動への、地域住民の参加を促す活動を行う者に対する支援	
2. 地域住民等が相互に交流を図ることができる拠点の整備	
3. 地域住民等に対する研修の実施	
4. 「住民に身近な圏域」において、地域生活課題に関する相談を包括的に受け止める体制の整備	
5. 地域住民の相談を包括的に受け止める場の周知	
6. 地域の関係者等との連携による地域生活課題の早期把握	

	取り組み可能な具体的なアイデア・ご意見
7. 地域住民の相談を包括的に受け止める場における支援体制の構築	
8. 協働の中核を担う機能（専門機関の中でリーダーシップをとること）	
9. 支援に関する協議及び検討の場	
10. 支援を必要とする者の早期把握	
11. 地域住民等との連携	
12. その他 ()	

問14 身近に困っている人がいるとき、貴団体ではどのような手助けができますか、又はやりたいですか。現在の活動状況に限定せず、できること、やりたいことをお答えください。（自由記述）

問15 今後、活動団体が増えていく、また継続していくためには、どのようなことが必要と考えますか。（自由記述）

問16 貴団体が活動をしていく上で、市役所・社会福祉協議会に望むことはどのようなことですか。

(あてはまるものすべてを選択)

1. 団体や活動についての PR	2. 活動上必要な情報の提供
3. 活動場所の提供	4. 会員募集の支援
5. リーダーの養成支援	6. 経済的支援(活動資金など)
7. 他団体とのネットワーク化	8. 団体運営上の助言
9. 設備・備品の充実	10. 成果の発表の場の提供
11. 協働による活動の展開	12. その他()
13. 特になし	

問17 その他福祉環境をよくするためのご意見・ご提言等ありましたらお書きください。(自由記述)

--

問18 本アンケート調査票にご回答いただいた団体を対象に、後日分野ごとのグループヒアリングを実施する予定です。グループヒアリングへの参加意思をお答えください。(1つを選択)

1.参加したい	2.参加は難しい
---------	----------

問18で「1」の方

グループヒアリングのご案内をさせていただく際のご連絡先をお書き下さい。

[電話]	
[E-mail]	

調査にご協力いただき、ありがとうございました。

地域福祉計画・地域福祉活動計画評価意見への回答

資料9

回答担当課	ページ	委員からの意見	意見への回答
1 健康づくり課	25	令和3年度、令和5年度の実績がどちらもびったり1,200人なのは、お手盛りなのではないか。(第2回推進委員会での確認事項)	令和3年度実績は1,202人、令和5年度実績は1,122人となるため、修正を行います。
2 福祉相談課	37	教育興味を持つ高齢者が多くいると思う。ボランティアで教育に携わると思う。	学習支援については、一般社団法人 彩の国 子ども・若者支援ネットワークに事業を委託しており、高齢の方々や教育関係の経験者の方々にも携わっていただいているところです。引き続き、事業者と意見交換を行いながら、本事業を進めてまいります。
3 福祉相談課	39	ハード面だけでなく、ソフト面(交通の利便性を図れるような)取組を盛り込めるように今後、検討していただきたい。	総合福祉センターの管理及び運営に関しては、運営協議会を設置して審議することとなっております。いただいたご意見を踏まえつつ、利用者アンケートや運営協議会での意見を参考にしながら、指定管理者と連携し、今後の運営を検討してまいりたいと考えています。
4 長寿はつらつ課	40	同一建物の利用から出た案のようだが興味がある物から交流ができれば発展性があると思う。学習面のサポートもできると思う。	老人福祉センターと児童館では、毎年、それぞれの利用者が分け隔てなく交流できる事業を企画して実施しています。学習面のサポートについては、各施設と情報共有をさせていただきます。
5 長寿はつらつ課	40	高齢者側からだけでなく、子供たちから教わる(ゲーム)などの多世代交流を検討できないでしょうか。	多世代交流につきましては、老人福祉センター及び児童館が企画実施しており、令和5年度は、家庭用ゲーム機を通じて、多世代交流を実施しました。
6 長寿はつらつ課	41	「第2層協議体」は用語解説にあったが「第1層協議体」と第6圏域の意味が解らない。	第1層協議体は、第2層協議体同様に地域住民が主体となって住民同士の助け合いの仕組みやつながりづくりを検討するための会議体で、第2層協議体は地域の課題、第1層協議体は市全体の課題を解決するための取組を検討する場となります。朝霞市は第1圏域から第6圏域の6つの日常生活圏域に分かれています。日常生活圏域とは、おおむね30分以内に必要なサービスが提供できる区域として、中学校区域と同等程度の区域をいい、第6圏域とは、北原・西原・浜崎・大字浜崎・田島・大字田島・岡・大字岡・溝沼6・7丁目の範囲をいいます。
7 長寿はつらつ課	41	①自助・互助の記載があるが、総合計画にも同じく互助としての位置づけをしているのでしょうか。 ②一層の立ち上げは評価。朝霞ならではのオリジナリティをあげてください。 ③二層協議体と地域の資源とのかかわりを例示してほしい。	①総合計画の中で、「互助」としての言葉のワードはありませんが、「地域での見守り体制の確立」、「地域包括ケア体制の推進」と互助を必要とした支援体制について記載しております。 ②今後、第1層協議体としての機能を高めていきたいと考えております。 ③例示に向けて生活支援コーディネーターと検討を進めてまいります。
8 長寿はつらつ課	42	令和5年度は2,500人と急激に増加しています。A評価としたのは、単に人数が増えたからでしょうか？内容も評価した上ででしょうか？私がこのような感想を持つのは、同じ利用者が多く(参加者から伺っている)、単に人数だけで評価Aにしたのは残念です。また、地域交流室とシルバーサロンでは場所も内容も違いますので、その内容を熟知したうえで評価する事が大事です。課題にもあるように概要等を広く周知する必要があると明記されていますが、現状では、シルバーサロン・地域交流室のいずれも外部からは全く見えません。今後地域住民の交流の場を広げるには、まだ、市内には未開発の交流の場が有るはずです。例えば市民センターの使用頻度を調べてみるのも良いかと思えます。志木市は学校の空き教室(市内3ヶ所)を活用しています。また、次回の委員会でシルバーサロン・地域交流室の詳細をお聞きしたいです。	指標評価におきましては、目標値が、シルバーサロンの利用者数であり、その目標値が大幅に上回ったことや、地域交流室については、生活支援コーディネーターを通じて、新たに利用を希望する団体の意向調査を実施したことから、これらの内容を総合してA評価としました。地域活動を行っている団体の把握については、生活支援コーディネーターが把握に努めており、公共施設の空き状況等については、今後、調査研究させていただきます。
9 長寿はつらつ課	42	①ミニデイサービスの年間利用者数がないが、高齢者福祉計画には、シルバーサロンなどと併記されているが、上位計画では併記できないか。ミニデイサービス3か所の年間延べ通所者数は2,000人を超えています。 ②広報あさかでミニデイサービスを会場の事業参加者募集を掲載依頼しても「公共施設でない」ということで難しいです。掲示板が利用できるようになって大変助かっています。SNSなどでの情報収集圏外を対象としている団体等にとっては参加者増につなぐためにも一考が欲しい。	①地域住民の交流の促進(高齢者地域福祉計画77頁)の1つとして、ミニデイサービスへの支援やシルバーサロンの提供を実施していることから、進行管理・評価シートの事業概要欄に併記できるか、検討します。 ②ミニデイサービスの周知につきましては、運営団体の意向を踏まえながら調査研究していきます。
10 地域づくり支援課	43	①令和4年度の多文化共生推進サポーター実働回数が特別多いが、事例を挙げていただきたい。 ②多文化共生のとらえ方で、外国籍の方が目の前にいないと多文化共生の意識醸成にならないのでしょうか。生活のあらゆる面で多文化の理解活動や国際理解教育を推進している地域の団体との連携も広げて。 ③他国籍の朝霞市民を積極的に、諸場面に参画できるような仕組み作りも必要だと思います。	①市HPIに掲載しているもので、学校給食で提供された外国料理及びその国の文化紹介を実施、粗大ゴミシール及びゴミ分別辞典の翻訳チェックなどを実施。 ②必ずしも目の前に外国籍の方がいなければ、多文化共生の意識醸成が行えないものではないと考えております。そのため、市HPIに外国の料理や文化紹介を行っております。また、今後においては、地域団体との情報共有や連携を行えるよう調整してまいります。 ③多国籍の市民があらゆる場面で参画できるよう呼びかけを行ってまいります。
11 長寿はつらつ課	51	理解普及のイベントとは別に、日常化してさりげなく認知症の方を受け入れている地域資源にも支援の考慮いただきたい。	地域住民や地域の多様な主体が参画して、つながることは大変重要な取り組みだと認識しています。認知症の有無に関わらず、利用者の受け入れをされている団体等から認知症に関する説明等の依頼を受けた際は、必要な支援を行ってまいります。
12 教育指導課	52	障がい者自身を講師に迎えて、実生活を理解していただく機会を増やしていくことを提案します。	児童生徒が障害者の方々の実生活の様子等を知ることは、障害についてより深く理解するために大変重要なことです。障害のある方をゲストティーチャーとしてお呼びして話を伺ったり、総合的な学習の時間に車椅子などを子供たちが実際に体験したりする取組を行っております。今後、こうした機会をさらに増やしていきたいと考えています。
13 福祉相談課	54 55	私の母が1人暮らしで世界した時民生委員と関わっていなかった為年金の手続きに苦労した。他にも70代後半の1人暮らしの方が自分の担当の民生委員が解らない、来てくれない、問い合わせ場所はどこだろうと言っていた。周知の方法を増やした方がいいと思う。広報に定期的に載せたらどうか。	民生委員に関する周知は、ホームページで記事を掲載しているほか、年に2回程度、広報に掲載しております。また、今年度は、5月12日の「民生委員・児童委員の日」に合わせて、公共施設にポスターの掲示をお願いしました。しかし、民生委員制度の周知は充分ではなく、現在の欠員状況にも繋がっていると考えています(10月1日現在で12名欠員)。今後も、市民の皆様を知っていただくための有効な手段を検討していきたいと考えております。
14 長寿はつらつ課	55 56	地域包括支援センター・配食などのほかに、地域資源とかかわることの奨励を。気にかけてくれる仲間がいる事も大切です。常法人の通所事業に参加されている方と連絡が取れなくなった際、民生委員さん、包括支援センター等の協力で、緊急入院・退院までの経過が解り安堵しました。	単身高齢者が増加傾向にある中で、地域とのつながりは今後ますます重要になってくるものと認識しておりますので、生活支援コーディネーターを中心に周知に努めてまいります。
15 長寿はつらつ課	59	定期的な説明会ではなく、動画作成はどうか。私は介護認定調査員をした時、介護保険や介護サービスを正しく理解していない家族が多く居ました。サービス利用時にパンフレットをもらうがきちんと読み切れていない。自動車免許更新の時に動画を見るが、あのような説明の動画をサービス利用開始時にみせるのはどうか。そのうえでパンフレットを持ち帰れば理解度が増すと思う。一度動画を作ってしまったら窓口での説明も簡略化でき、人件費も省ける。近隣の市や県と同一のもので良いので共同で作ればコスト面も安くなる。	介護保険制度の改正等により制度の内容自体が変化するため、動画での説明だけでは十分な成果が得られないことも想定されますが、まずは一部の内容においては、動画作成が可能か否かの検討をしてまいりたいと考えております。また、定期的な説明会につきましては、介護保険制度の趣旨普及事業として、そもそもサービス利用を開始するまでの流れが分からない、という方や、現状は介護を必要としていないが介護保険料の納付について御理解をいただく必要がある方などに対応する必要があることから、開催が必要であるとと考えております。
16 シティ・プロモーション課	61	情報源としては「広報」が断然に多いが、今回のアンケートで、民生委員やボランティア等、情報を得られていない項目もある。以前広報を録音して視覚障害者に配るボランティアをしていたが、例えば市営プールの情報がこと細かに一面載っていた。最近はQRコードを使いその量が減って、良い傾向だと思う。その分、本当に必要な情報を定期的に載せてはどうか。 例えば <u>こんなことない？</u> 虐待かな 高齢で生活大変そう… ボランティアしてみたいけど 問い合わせ 子ども未来課 地域包括… 社協 電話 048… 048…	広報あさかの編集にあたっては、担当課からの記事掲載依頼を受け、QRコードの活用や、重複した内容は掲載しないなど、市民の皆さまに多くの情報がわかりやすく届くよう工夫して行っております。福祉情報の定期的な掲載につきましては、福祉担当課からの要望がありましたら、紙面調整等の検討を行いたいと思います。今後も、福祉情報を含め、市民の皆さまに必要な情報が効果的に発信できるよう努めてまいります。

17	危機管理室	62	自己評価として「予定どおり令和5年6月中に更新及び配布云々」とありますが、更新及び配布=A評価なのではないでしょうか？配布された方(側)の実態や意見などは聞いているのでしょうか？例えば、宮戸町内会の場合、名簿登録者の実態として、自力で避難できる・家族がいる人もいと聞いています。したがって、名簿の内容を精査する必要があると思われま。そのうえで、課題にもあるように台帳を活用した訓練が急務です。朝霞市でも過日の大雨でニュースに取り上げられましたが、市内の危険箇所を数か所モデル地域に指定し、個別避難計画を立て住民に見えるように、実際に動くことが大切です。これを行うには市だけではだめで、あらゆる社会資源(福祉施設・町内会・警察・消防・社協・民生委員・団地の管理人・医療関係者等々)を活用し、まずはやってみて課題を明確に住民の防災に対する意識を高める事が重要です。	ご指摘いただいたとおり、避難行動要支援者台帳の精査について、令和5年度に一部地域において関係各課共同で市職員による実地調査を始めました。要支援者台帳の制度理解の促進を始め、周知・啓発が重要なところと考えております。また、今年度から要支援者台帳の個別避難計画の更なる充実を図るべく、介護事業者等に作成促進に係る協力を仰ぐ取り組みを開始しているところでございます。今後については、まずは、個別避難計画の充実を更に促進させ、実行力のある計画とした要支援者数を増加させ活用について関係各課及び関係機関と連携を図りながら調査、研究を進め住民の防災に対する意識の醸成に努めてまいりたいと存じます。
18	長寿はつらつ課	64	広報で「老人クラブ」という名前を見た事がない。例えば「栄町～会」となっていると他の地域の人は自分には関係ないと思ってしまう。	「老人クラブ」とは、市内にある20団体(1団体あたり30人以上の会員登録があり、地域活動や清掃活動等を行い、会長や副会長等の役員を置くことなどの規定あり)の総称です。今後、広報等に掲載する際は興味を持っていただけるように工夫や改善をさせていただきます。
19	長寿はつらつ課	65	私は近所の方から「誰かデイサービスの仕事をしてくれる人知らない？」という問いかけから全く未知の世界の仕事を短期のつもりで始め、その後介護福祉士の国家資格を取るまでになりました。仕事の楽しさ、やりがい、利用者が喜んでくれる事が自分を癒し、「ありがとう」と言われてその言葉がすごく嬉しい…。思いもかけず良い仕事でした。そういう仕事だというアピールをもっとできないでしょうか。重たい寝たきりの人を3人がかりで移動するのは大変ですが、そればかりが仕事ではありません。そういうイメージがマスコミ等で強調されています。例えば、他の施設で定着しなかった認知症の方が自分のところで定着したり、風呂に入れるようになった時の達成感、やった一感は格別です。精神的に落ち込んでいた方が和んで来たり、介護の仕事を通じて、情緒不安定の方が安定しておだやかになったりもあると思います。そういう仕事だとPRしたいです。	介護職の人材確保のためには、介護の業務に携わる上での不安を払拭することにより、多様な人材の参入を促進するために埼玉県が平成25年から実施している「介護職員しつかり応援プロジェクト」の中で、県内のベテラン介護職員で構成する「介護の仕事の魅力PR隊」を立ち上げ、現役の職員の声の動画等を作成しております。また、埼玉県介護福祉人材センターが「きらめくKAIGOの仕事ガイドブック」を作成し、介護施設で働く若手職員の実施の勤務スタイルややりがい、経済的なサポート等を紹介しております。市としましても、より多くの方に介護の仕事について知ってもらうと共に、介護職のイメージアップを促進していくために、そのような取組を市のホームページで紹介しております。今後は、そのような取組の周知を引き続き実施してまいるとともに市内介護事業者からの介護の仕事に関するコメントなどをホームページに掲載することについて、検討してまいります。
20	長寿はつらつ課	66	確実な支援をいただくことで、常法人通所者も包括支援センターの仕事への理解も増え、二層協議体のメンバーになるなどの事例もあります。団体自らも積極的にアプローチが必須だと感じます。	活動団体から率直なご意見をいただきながら、風通しの良い関係を構築していきたいと考えております。
21	地域づくり支援課	80	消費生活相談を本庁以外で開催できないか。	消費生活相談は、国が整備した専用回線につないだPCを用いて情報収集や助言等を行っていることから、外部に持ち出している相談は難しいものと捉えております。また、相談は対面式及び電話で行っておりますので、来庁ができない方は電話での相談を紹介させていただいております。
22	社会福祉協議会 地域福祉活動計画	29	社協独自の地域密着をいかして、市民が興味を持つ地域の情報発信をしていけるようお願いしたい。	今後も地域住民の興味関心が高い地域福祉に関する情報を調査し、広報紙やSNSなどの情報媒体を活用するとともに、地域に直接赴き情報発信を行ってまいります。

朝霞市地域福祉活動計画等策定に係る地域懇談会実施概要（案）

日程	別添「第5期地域福祉計画・活動計画策定に伴う地域懇談会日程」参照
回数	6回（地区ごとに1回ずつ）
参加対象	1地区30名ほど。公募しつつ地域福祉活動者等に声かけ
実施時間	2時間/1回
プログラム案	
00:00 ～00:03	開会・挨拶
00:03 ～00:08	オリエンテーション「地域福祉とは?」「懇談会の目的・進め方」
00:08 ～00:13	市の現状説明「統計からみる市の現状」
00:13 ～00:20	アイスブレイク（自己紹介を兼ねて）
00:20 ～00:40	グループワーク① <u>テーマ「5年後の理想の朝霞 ～こんな地域を目指したい～」</u> ①〔05分〕：自身が思う5年後の理想の朝霞をイメージし付箋に書く。ある程度イメージし易いようにキーワードを提示する。〔個人ワーク〕 ②〔15分〕：付箋に書いた内容をグループ内で共有。グループメンバーの発表を聞いてより良いアイデアが浮かんだら付箋に追加で書き出していく。〔グループワーク〕 【キーワード：暮らし、相談、交流、コミュニティ、情報、防災】
00:40 ～01:00	グループワーク② <u>テーマ「目指したい朝霞と現在の朝霞 ～理想と現在は何が違う?～」</u> ①〔05分〕：グループワーク①で出た意見を現在の朝霞と比較し、目指したい朝霞とどのような違いがあるかを考え、付箋に書く。その他、現在気になっていることがあれば書き出す。〔個人ワーク〕 ②〔15分〕：付箋に書いた内容をグループ内で共有。新たな意見があれば追加で記載。〔グループワーク〕
01:00 ～01:05	～休憩～
01:05 ～01:35	グループワーク③ <u>テーマ「5年後の理想のために ～これから必要な取り組みは?～」</u> ①〔10分〕：「理想の朝霞を実現させるために取り組むこと」、「気になっていることに対する取り組み」を「自分を含めた近隣住民ができること」・「組織的に取り組むこと」の視点で考え、付箋に書く〔個人ワーク〕 ②〔15分〕：付箋に書いた内容をグループ内で共有する。取り組みの実施主体別に分類し、話し合いの中でより良いアイデアが浮かんだら追加する。〔グループワーク〕 ③〔05分〕：発表準備（発表者決め、発表内容の整理など）〔グループワーク〕
01:35 ～01:53	発表（班ごとに実施。持ち時間は1班3分程度、班数により変動）※5班を想定
01:53 ～01:55	閉会の挨拶
01:55 ～02:00	アンケート記入（回答し終えた人から退場）

第5期地域福祉計画・活動計画策定に伴う地域懇談会日程

【R6.10.1現在】

日時				会場・部屋・予約時間・収容人数			
①	11月26日	(火)	14：00～16：00	根岸台市民センター	会議室1.2	13：00～16：30	65人
②	11月27日	(水)	14：00～16：00	膝折市民センター	会議室1.2	13：00～16：30	75人
③	11月28日	(木)	14：00～16：00	宮戸市民センター	ホール	13：00～16：30	120人
④	12月5日	(木)	14：00～16：00	産業文化センター	研修室2.3	13：00～16：30	81人
⑤	12月6日	(金)	18：30～20：30	中央公民館	学習室1.2	17：00～21：30	90人
⑥	12月7日	(土)	10：00～12：00	朝霞市総合福祉センター	会議室1.2	9：00～12：30	60人

第5期朝霞市地域福祉計画及び第5期朝霞市地域福祉活動計画 策定スケジュール

令和6年10月1日現在

	令和6年度											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
市民アンケート調査												
調査設計・印刷												
調査実施												
入力・集計・分析												
報告書の作成												
地域懇談会(社会福祉協議会)												
準備												
実施												
報告書の作成												
団体アンケート・ヒアリング調査												
調査設計・印刷												
調査実施												
入力・集計・分析												
報告書の作成												
計画策定												
現状把握・分析(適宜)												
第4期計画の総括・課題整理(準備)												
会議等												
推進委員会												

趣旨説明等

各種調査への
意見聴取

懇談会結果報告
調査結果報告

	令和7年度											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
計画策定												
現状把握・分析(適宜)												
第4期計画の総括・課題整理												
骨子案の作成・修正												
素案の作成・修正												
パブリックコメントの実施												
計画書・概要版の編集												
計画書・概要版の印刷・製本												
会議等												
推進委員会												
政策調整会議(庁議)												

骨子案の検討

素案の検討
パプコメ結果報告

素案の検討

最終案の報告